

令和2年度

作新学院中等部

シラバス集



The Syllabus of Classes

シラバスの作成と活用について

I まえがき

作新学院中等部では、特色あるカリキュラム編成によって、生徒一人ひとりの学習向上を図っています。

令和2年度は3学期制を効果的に運用しながら新学習指導要領移行を踏まえ、国際性豊かで、高い主体性を持った生徒の育成を目指します。

新たな教育展開について「令和2年度作新学院中等部シラバス集」を作成いたしました。

生徒の皆さんには、十分にシラバスを活用して学習の計画や学力伸長に役立ててほしいと思います。保護者の皆様には、中等部の教育活動をご理解していただけますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況の中、計画通りの進行ができないこと、変更を余儀なくされることも考えられます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

II シラバスの活用について

(1) シラバスとは

英語のシラバス(syllabus)は、ギリシャ語の *sittuba* すなわち「羊皮紙製の書籍のラベル」、または「標題紙」という意味の言葉を語源としており、和訳すれば「教授(講義)要目」などと言います。既に大学では「シラバス」と題した履修ガイダンス用の資料が一般に導入されています。現在、高等学校等で一般に導入されているシラバスは、各教科・科目等に関する教師用の年間指導計画を、生徒や保護者向けの記述に改めた学習計画書と言えます。

(2) シラバスが注目されるのは

① 学習意欲を高めます

シラバスは、学習する生徒が計画的にまた主体的に学んでいくための手引きであり、学習意欲が向上します。

② 学校への理解と信頼につながります

学校がシラバスを通して教育内容を公開することにより、生徒・保護者から理解と信頼を得ることができます。

③ わかりやすい説明に役立ちます

シラバスの中に授業目標・内容・テーマ・テキスト・評価方法、学習計画等を明示することによって、中等部の学習に対する取り組みが分りやすく説明できます。

III 生徒の皆さんへ

中学校の3年間は、あっという間に過ぎてしまう短期間ではありますが、児童から生徒に名称が変るように人生の中で一番心身の成長が著しく、大切な時期です。「継続は力なり」という言葉にありますように、日々の努力の着実な積み重ねが大切です。中等部の皆さんがこの資料集を有効に活用し、自ら考え主体的に学習する力の育成に十分役立ててください。

目 次

◇ 中等部年間行事予定表

◇ シラバスの作成と活用について

◇ 中等部の試験について 1

◇ 各教科の進度

国語 2

社会 10

数学 16

理科 22

音楽 28

美術 34

保健体育 40

技術・家庭 46

英語 56

国際理解・情報処理（総合的な学習の時間） 62

特別の教科 道徳 68

特別教育活動 年間指導計画

2020 中等部の試験について

1) 定期試験・実力テストの日程

日 時		定期試験		実力テスト	
一 学 期	4月15日(水)			課題確認テスト・復習テスト	
	5月20日(水)	中間試験			
	6月12日(金)			第1回 実力テスト	
	7月 2日(木)・ 3日(金)	期末試験			
二 学 期	9月18日(金)			第2回 実力テスト	(3年)
	9月29日(火)			第2回 実力テスト	(1・2年)
	10月22日(木)	中間試験			
	11月 2日(月)			第3回 実力テスト	
	12月 3日(木)・ 4日(金)	期末試験			
三 学 期	1月13日(水)			第4回 実力テスト	(3年)
	2月18日(木)・19日(金)	学年末試験	(3年)		
	25日(木)・26日(金)	学年末試験	(1・2年)		
	3月 2日(金)			第4回 実力テスト	(1・2年)

2) 試験範囲

各試験範囲表が試験日の約1週間前に配布される。

3) 学習の進め方

- 予習、復習を毎日励行する。
- 試験日までの1週間は、学習計画を立て、反復学習を行うように心がける。
- 「試験範囲表」に試験全体についての目標や教科ごとの目標を記入する。
- 各教科の目標は、具体的な勉強方法などについて明確にしたものとし、学習計画のプラン作成に役立つ。
- 試験後は常に復習できるように、試験ごとに問題を保管整理しておく。(ファイルに綴じておく)
- 試験直後の授業には、必ず問題用紙を持参する。
- 授業で解説を聞いた後、必ずやり直しをして、間違い部分について学習を深める。
- 試験の成績個票が配布された後、「試験範囲表」に反省点を記入し、今後の学習に役立てる。
- 反省を記入後、保護者の方にコメントを書いてもらい、担任に提出する。

4) 通知表について

- 1・2・3学期ごとにすべての試験と授業における関心・意欲・態度、課題の提出状況などで総合評価する。
- 評価は、絶対評価で5段階(5・4・3・2・1)でつけられる。従って、成績が良ければ全員の評価が5になることもある。
- 総合的な学習の時間の評価は学年末に文章でなされる。

科目名	学年	単位数	分類
国語	1	4.3(書写0.3)	必修

<p>授業目標</p> <p>国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語の対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</p>
<p>授業内容・テーマ</p> <p>1. 話すこと・聞くこと 2. 書くこと 3. 読むこと 4. 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>教科書・補助教材等</p> <p>新しい国語1(東京書籍) 新国語の便覧(正進社) よくわかる国語の学習1(明治図書) 単元別漢字ノート1年(新学社) 日常に使える役立つ文法(正進社)</p>
<p>評価方法・基準</p> <p>定期試験、実力試験、学習プリント、漢字の小テスト、聞き取りテスト ノート、ワーク、その他作文課題の提出等総合的に判断して評価する。</p>
<p>受講にあたって留意すべき事(受講条件等)</p> <p>書写は前期のみ</p>

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	上旬		
	中旬	風の五線譜 【詩】	・詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。
	下旬	話し方はどうかな 【言語感覚】	・話し方について知り、声に出して文章を読む。
5月	上旬	詩の心 【言語感覚】	・詩に表されている発見や、表現の工夫について話し合う。
	中旬	小さな発見を詩にしよう	・音声の働きや仕組み
	下旬	日本語探検1 文法の窓1	・文法とは・言葉の単位
6月	上旬	飛べ かもめ 【小説】	・読み取ったことを生かして作品を朗読する。
	中旬	さんちき 【小説】	・作品から読み味わったことをもとに想像をふくらませ、自分のものの見方を広くする。
	下旬	漢字道場1 文法の窓2	・活字と書き文字・画数・筆順 ・文の成分・連文節
7月	上旬	伊曾保物語 【古文】	・古典の作品を読み、文章の特徴について考える。
	中旬	オオカミを見る目 【説明文】	・書き方の工夫されているところを発表する。
	下旬	日本語探検2 漢字道場2	・つなぐ言葉・指し示す言葉 ・音読み・訓読み
8月	上旬	構成を考えて書こう 「私」の説明文	・普段の生活や自分について振り返り、書くための材料を集め、伝える内容を考える。
	中旬	読書への招待 「碑」	・楷書を使って作品を完成させる。
	下旬	書写	

9月	上旬	スズメは本当に減っているか 【説明文】	・科学的な文章を読んで、自分の感想や考え、疑問点などを発表する。	・感想や考え、疑問に思ったことや詳しく知りたいことを発表しあう。
	中旬	竹取物語 【古文】	・古典の作品を読み、人間の心のありようについて話し合う。	・古語辞典の引き方を学ぶ。
	下旬	漢字道場3	・漢字の部首	
10月	上旬	矛盾 【漢文】	・漢文特有のリズムを味わい、訓読に必要な決まりを知る。	・故事成語について調べ、体験や出来事を文章にまとめる。
	中旬	根拠を明確にして書こう	・現代に生きる故事成語について理解を深める。	・分かりやすく話を組み立てる。
	下旬	文法の窓3 硬筆検定3級の練習	・説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書く。 ・単語の分類	・品詞分類表 ・硬筆の基本を学ぶ。
11月	上旬	月夜の浜辺 【詩】	・詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	・情報の接し方と情報の使い方を身につける。
	中旬	ニュースの見方を考えよう 【説明文】	・ニュースを編集したり、インターネットの情報を吟味したりする。	
	下旬	漢字道場4 文法の窓4	・漢字の成り立ち ・名詞	
12月	上旬	具体例を挙げて伝えよう 読書への招待 「集まって住む」	・具体例を取り入れ、順序立てて話を組み立てる。	・発表を聞き、評価する。
	中旬	日本語探検3	・語の意味と文脈・多義語	・完成した作品を鑑賞し合う。
	下旬	書写	・楷書を使って作品を完成させる。	
1月	上旬			
	中旬	少年の日の思い出 【小説】	・場面の展開や描写に注意して、作品構成の工夫について話し合う。	・伏線に着目する。
2月	上旬	作品のよさを表現しよう	・作品のよさを伝えるという目的に沿って鑑賞文を書くための材料を集め、自分の考えをまとめる。	・体験や考えを出し合う。 ・相手の考えを受けて話す。
	中旬	話し合いで理解を深めよう	・お互いの体験や考えを出し合って整理する。	
	下旬	名づけられた葉 【詩】	・詩の中で使われている言葉の意味を的確に捉える。	
3月	上旬	読書への招待 「トロッコ」	・文学作品を読み、情景描写などの表現の効果について考える。	
	中旬	文法の窓5	・連体詞・副詞・接続詞・感動詞	
	下旬			

その他特記事項

○漢字（週1回テスト まとめテスト）	○単元別漢字ノート 新出漢字の学習
○国語の学習 各単元の復習	○定期的な文法学習
○読書感想文コンクール 全員参加（夏休み課題）	○中学生の主張コンクール 全員参加（1学期）
○百人一首かるた大会 全員参加（3学期）	○各種作文コンクール 応募の奨励（適宜）
○下野教育書道展・書初展の全員参加	○漢字検定・硬筆毛筆検定受検の奨励（年3回実施）

科目名	学年	単位数	分類
国語	2	5	必修

<p>授業目標</p> <p>国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語の対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</p>
<p>授業内容・テーマ</p> <p>1. 話すこと・聞くこと 2. 書くこと 3. 読むこと 4. 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>
<p>教科書・補助教材等</p> <p>新しい国語2(東京書籍) 新国語の便覧(正進社) 国語の学習2(明治図書) 単元別漢字ノート2年(新学社) 役立つ文法(正進社) 整理と対策(明治図書) 整対ノート(明治図書)</p>
<p>評価方法・基準</p> <p>定期試験、実力試験、学習プリント、漢字の小テスト、聞き取りテスト ノート、ワーク、作文その他課題の提出を総合的に判断して評価する。</p>
<p>受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし</p>

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	上旬	未来へ 【詩】	<ul style="list-style-type: none"> ・枕草子第一段を暗唱し、古文のリズムに慣れる。 ・古語辞典の引き方を学ぶ。
	中旬	メッセージをどう聞かか 【読む 言語感覚】	
	下旬	枕草子 【古典】	
5月	上旬	短歌を楽しむ 【言語感覚】	<ul style="list-style-type: none"> ・時を表す様々な表現に注意して詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。 ・キーワードの意味に注意して筆者の考えを捉える。 ・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。 ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。
	中旬	短歌のリズムで表現しよう 【書く 詩歌創作】	
	下旬	文法の窓1 漢字道場1 字のない葉書 【随筆】	
6月	上旬	自然や体験の描き方を工夫し、短歌を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の創作
	中旬	敬語 形の似た漢字	
	下旬	登場人物の言動が持つ意味に注意して作品を読み味わう。	
7月	上旬	徒然草 【古典】	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞き、内容を吟味する。
	中旬	問題意識を持って聞こう 【聞く】	
	下旬	卒業ホームラン 【小説】	
8月	上旬	調べて考えたことを伝えよう 【書く】	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成 ・要約の仕方を学ぶ。
	中旬	鯉節—世界に誇る伝統食 【説明文】	
	下旬	小さな労働者 【説明文】	
9月	上旬	本を読み、その魅力について自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する本と読み比べる。
	中旬	用言の活用 漢字の意味 方言と共通語	
	下旬	行書を使って作品を完成させる。	
10月	上旬		<ul style="list-style-type: none"> ・完成した作品を鑑賞し合う。
	中旬		
	下旬		

9月	上旬	平家物語 【古典】 哲学的思考のすすめ 【説明文】	・表現の特徴に注意して朗読し、古典の世界を楽しむ。 ・論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。	
	中旬	反対意見を想定して書こう。 【書く】	・自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。	・意見文を書く。
	下旬			
10月	上旬	説得力のある提案をしよう 【話す】	・聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てる。	・プレゼンテーションを体験する。
	中旬	文法の窓3 漢字道場3 日本語探検2	・助詞 ・同訓異字 ・話し言葉と書き言葉	
	下旬	落葉松 【詩】	・文語定型詩に親しみ、描かれた情景や心情を捉える。	リズムを感じ取りながら朗読する。
11月	上旬	漢詩 【漢文】	・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。	
	中旬	依頼状やお礼状を書こう 【書く】 走れメロス 【小説】	・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 ・人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。	・手紙を書いて推敲する。
	下旬			
12月	上旬	話し合いで問題を検討しよう 【話し合う】 文法の窓4 漢字道場4 日本語探検3 わたしが一番きれいだったとき 【詩】	・テーマについて話し合って検討し、意見をまとめる。 ・助動詞 ・同音異義語 ・類義語・対義語 ・心情が読み取れる言葉に注意して詩を読む。	・パネルディスカッションを体験する。
	中旬	書写	・行書を使って作品を完成させる。	・完成した作品を鑑賞し合う。
	下旬			
1月	上旬			
	中旬	「正しい」言葉は信じられるか 【説明文】	・事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。	
	下旬	いきいきと描き出そう 【書く】	・情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。	・短歌をもとに物語を創作する。
2月	上旬	坊っちゃん 【小説】	・文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。	・夏目漱石の他の作品にも興味をもつ。 ・日本の名作を読んでみる。
	中旬			
	下旬	文法開設		
3月	上旬	歴史の物差し—水月湖の年縞 【説明文】	・複数の情報源から情報を得て、比べながら自分の考えをまとめる。	・日本文化に関する本を読み比べる。
	中旬	古典芸能に親しもう		・映像教材で古典芸能に触れる。
	下旬			

その他特記事項

○漢字（週1回テスト まとめテスト）	○単元別漢字ノート 新出漢字の学習
○国語の学習 各単元の復習	○定期的な文法学習
○読書感想文コンクール 全員参加（夏休み課題）	○中学生の主張コンクール 全員参加（1学期）
○百人一首かるた大会 全員参加（3学期）	○各種作文コンクール 応募の奨励（適宜）
○下野教育書道展・書初展の全員参加	○漢字検定・硬筆毛筆検定受検の奨励（年3回実施）

科目名	学年	単位数	分類
国語	3	5	必修

授業目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語の対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

授業内容・テーマ

1. 話すこと・聞くこと 2. 書くこと 3. 読むこと 4. 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

教科書・補助教材等

新しい国語3(東京書籍) 新国語の便覧(正進社) 国語の学習3(明治図書) 役立つ文法(正進社)
 単元別漢字ノート3年(新学社) 入試漢字ドリル(正進社)
 整理と対策(明治図書) 整対ノート(明治図書) 栃木県リハーサル国語

評価方法・基準

定期試験、実力試験、学習プリント、漢字の小テスト、聞き取りテスト
 ノート、ワーク、作文その他課題の提出を総合的に判断して評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	上旬 生命は 【詩】	・詩の意味や効果的な表現を捉える。	・読み方を工夫して音読する。
	中旬 二つのアザミ 【言語感覚】	・表現の工夫に注意して筆者の考えを捉える。 ・和語・漢語・外来語 ・間違えやすい敬語 ・連語・慣用句	
	下旬 日本語探検1 文法の窓1 日本語探検2		
5月	上旬 俳句の読み方、味わい方 【言語感覚】 俳句を作って句会を開こう	・俳句を鑑賞する。 ・俳句を作って互いに読み合い、作品の良さを評価する。	・表現の工夫に着目して、俳句を読み味わう。 ・俳句の良さを評価してまとめる。 ・それぞれの和歌が詠まれた背景や作者の心情について考える。 ・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。
	中旬 万葉・古今・新古今 【古文】	・古典の和歌を読む。	
	下旬 形 【小説】	・作品を読んで批評する。	
6月	上旬 評価しながら聞こう 絶滅の意味 【説明文】	・さまざまな観点から評価しながら聞き、自分の考えや表現に生かす。 ・論の進め方を捉え、注目する点を決めて自分の意見をまとめる。 ・知識や体験をもとに、構成を工夫し、内容を膨らませて書く。 ・熟語の構成・熟字訓 ・四字熟語	・説得力を高めるための論理の展開の仕方を捉える。
	中旬 編集して伝えよう 落語の秘密 【読書】		
	下旬 漢字道場1 漢字道場2		
7月	上旬 生ましめんかな 【詩】	・詩に描かれた生と死について考え感想を持つ。	・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。 ・完成した作品を鑑賞し合う。
	中旬 百科事典少女 【小説】	・行書を使って作品を完成させる。	
	下旬 書写		
8月	上旬		
	中旬		
	下旬		

9月	上旬	黄金の扇風機 【随筆】	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの文章を比較して読み考えをまとめる。 ・複数の対象を比較して、説得力のある批評文を書く。 ・曖昧な文・分かりづらい文 ・送り仮名 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較して自分の考えをまとめる。
	中旬	サハラ砂漠の茶会 【随筆】		
	下旬	観察・分析して論じよう 文法の窓2 漢字道場3		
10月	上旬	おくのほそ道 【古文】	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくのほそ道」を読む。 ・場の状況や相手に応じた話し方をする。 ・表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた表現や文体の特徴に注意して作品を読み味わう。 ・敬語を適切に使い、場の状況や相手に応じた話し方をする。
	中旬	場面に応じて話そう		
	下旬	初恋 【詩】		
11月	上旬	故郷 【小説】	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、社会の中で生きる人間について考えたことをまとめる。 ・話し合いが効果的に問題解決に向かうように、進行の仕方を工夫する。 ・言葉の移り変わり ・文法のまとめ ・紛らわしい漢字 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係の変化に着目する。 ・論点を整理し、お互いの意見を生かし合う。
	中旬	話し合いで問題を解決しよう		
	下旬	日本語道場3 文法の窓3 漢字道場4		
12月	上旬	論語 【漢文】	<ul style="list-style-type: none"> ・「論語」を読む。 ・メディアの役割について考えを深める。 ・行書を使って作品を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古人の言葉をもとに人間の生き方について考える。 ・震災時の報道や情報伝達について考える。 ・完成した作品を鑑賞し合う。
	中旬	いつものように新聞が届いた 【メディア】		
	下旬	書写		
1月	上旬		<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた生と死について考え感想を持つ。 ・間違えやすい言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の表現の効果に着目する。
	中旬	レモン哀歌 【詩】		
	下旬	漢字道場5 何のために「働く」のか 【読書】		
2月	上旬	今の思いをまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめる。 ・文学作品を読み、人間や社会について考える。 ・問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを手紙の形でまとめる。 ・演習を通して、実力を高める。
	中旬	最後の一句 【小説】		
	下旬	入試対策		
3月	上旬			
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ○入試漢字ドリル（県立高校入試言語事項対策） ○漢字ノートによる漢字の習得 ○中学生の主張コンクール 全員参加（1学期） ○百人一首かるた大会 全員参加（3学期） ○下野教育書道展・書初展の全員参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに沿った作文の指導 ○定期的な文法学習 ○読書感想文コンクール 全員参加（夏休み課題） ○各種作文コンクール 応募の奨励（適宜） ○漢字検定・硬筆毛筆検定受検の奨励
---	--

科目名	学年	単位数	分類
書写	1	0.3	必修

授業目標 ・書く目的に合わせて文字を正しく整え、速く書く能力、豊かな文字感覚の育成。
授業内容・テーマ 1. 楷書で書こう 2. 楷書と仮名を調和させて書こう 3. 行書で書こう 4. 学習を生かして作品を作ろう 5. 1年間のまとめ
教科書・補助教材等 中学書写（教育出版）
評価方法・基準 授業時の毛筆提出作品 硬筆練習プリント 書道展出品作品
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 1年必修

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	一 楷書で書こう	・筆使い —基本点画の種類—	・用具のよい持ち方とよい姿勢は、整った文字を書く基本であることを学ぶ。
		・筆使いと字形「天地」	・字形を確認しながら書く。
		二 楷書と仮名を調和させて書こう	・筆脈「いろは歌」
5月	三 行書で書こう	・点画の連続と変化1「大木」	・点画の連続と形の変化を理解して書く。
		・点画の連続と変化2「栄光」	・点画の連続と変化を理解して書く。
		・点画の連続と省略「平和」	・点画の連続と省略を理解して書く。
6月	四 学習を生かして作品を作ろう	・好きな文字を色紙に書く （練習 清書） ・篆刻（自分の名前を石に彫る）	・今までの学習内容を振り返りながら、自分で選んだ言葉を自由な書体で書く。 ・篆書篆刻辞典・五體字類を活用する。
		・下野教育書道展	・色紙作品に自分で彫った印を押印し、全員で鑑賞したり感想を述べ合う。 ・夏休み明けに「校内展覧会」を行う。（各教室廊下に展示）
7月		・書道展出品作品練習（全学年）	
8月			

9月	上旬 中旬 下旬			
10月	上旬 中旬 下旬	硬筆検定 3級練習		
11月	上旬 中旬 下旬		・硬筆検定3級受検(希望者)	
12月	上旬 中旬 下旬	書初展 まとめ	・書初展出品作品練習	・冬休み明けに「校内書初展」を行う。 (各教室廊下に展示)

その他特記事項

- 硬筆毛筆検定希望者は全学年、年に3回受検可能。適宜指導を行う。
○下野教育書道展、書初展は全員出品。

科目名	学年	単位数	分類
社会 (地理・歴史的分野)	1	4	必修

授業目標

地理 ・地理学習の基礎となる地球全体の学習においては、国際人として活動する基礎づくりを行い、世界や日本の各地域の学習を通じて、「地域」の特徴を自ら考え認識する力や自ら問題意識を持ちその解決に向けた自分なりの考えを構築するなど「生きる力」の養成を図る。

歴史 ・日本と世界の歴史学習を通じて、社会に関心を持ち、自ら考え学ぶ歴史の基礎を築く。

授業内容・テーマ

地理学習、歴史学習における基礎・基本を学びながら、自らその地域や時代の特色を発見し、考察・表現する感覚を育てる。

演習を通して、地理・歴史ともに確実な学力を養う。

教科書・補助教材等

新しい社会 地理・新しい社会 歴史 (東京書籍), 中学校社会科地図 (帝国書院)

栃木県版ニュータイプ中学歴史資料集 学び考える歴史 (浜島書店)

最新地理資料集 (明治図書), よくわかる社会の学習 地理 I・歴史 I (明治図書)

WinPass 地理・歴史 (文理) 歴史・地理基本用語集 (吉野教育図書)

評価方法・基準

定期試験及び授業での活動状況や課題などの提出物を含む平常点等で総合的に評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

全員必修であるが、自ら問題意識を持ち、主体的に参加すること。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	上旬			
	中旬 下旬	地) 世界のさまざまな地域 歴) 歴史のとらえ方 身近な地域の歴史	<ul style="list-style-type: none"> 世界のすがた 調べ学習の基礎 歴史学習、調べ学習のやり方 地域の歴史の学習法 	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を使い地球環境の外観を理解する。 調べ学習に対応出来る基本の習得。 歴史学習や調べ学習の進め方を学ぶ。
5月	上旬	地) 世界のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活と環境 世界の諸地域 (アジア州) 	<ul style="list-style-type: none"> 各気候帯での人々の暮らしの特色を学ぶ。 学習テーマを設定し急速な成長を遂げるアジアの変化を学ぶ。 世界の古代文明や宗教、国家形成のあらましを学ぶ。日本の国家形成の過程を学ぶ。
	中旬 下旬	歴) 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> 文明のおこりと日本のなりたち 	
6月	上旬	地) 世界のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域 (アジア州) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の各地域に関して、学習テーマを設定し特色を捉え、理解を深める。
	中旬 下旬	歴) 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> 古代国家の歩みと東アジア世界 	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の代表的な人物を中心に、その時代の政治や文化の特色を捉える。
7月	上旬	地) 世界のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域 (ヨーロッパ州) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の各地域に関して、学習テーマを設定し特色を捉え、理解を深める。
	中旬 下旬	歴) 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> 古代国家の歩みと東アジア世界 	<ul style="list-style-type: none"> 古代の各時代における代表的な人物を中心に、その時代の政治や文化の特色を捉える。
8月	上旬			
	中旬			
	下旬			

9月	上旬	地)世界のさまざまな地域 歴)古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域 (アフリカ州・北アメリカ州) 古代国家の歩みと東アジア世界 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の各地域に関して、学習テーマを設定し特色を捉え、理解を深める。 古代の各時代における代表的な人物を中心に、その時代の政治や文化の特色を捉える。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	地)世界のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域 (アフリカ州・北アメリカ州) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域に関して、学習テーマを設定し特色を捉え、理解を深める。 地域ごとの多様な生活の違いを考えさせ、地理的認識を深める。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	地)日本のさまざまな地域 歴)中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域(南アメリカ州) 武士の台頭と鎌倉幕府 	<ul style="list-style-type: none"> 国土の位置や領域の変化を世界的な視野から捉える。 時差の仕組みや日本の地域構成を理解する。 武家政治の展開を理解するとともに、東アジア世界が中世の日本に与えた影響を考える。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	地)世界から見た日本のすがた 歴)中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域 (オセアニア州) 東アジア世界とのかかわりと社会の変動 	<ul style="list-style-type: none"> 世界的視野から日本の地形や気候の特色を理解する。自然環境の特色を理解した上で防災を考える。 武家政治の展開を理解させる。 東アジア世界が中世日本に及ぼした影響を考える。
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	歴)近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界から見た日本の自然環境 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 	<ul style="list-style-type: none"> ルネサンスや宗教改革とヨーロッパの近代化、大航海時代の世界の変容を捉える。
	中旬			
	下旬			
2月	上旬	歴)近世の日本 地)世界のさまざまな地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ人との出会いと全国統一 日本のすがた 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界の変容と日本との交流、日本の近世社会の仕組みについて理解する。 学習したことから、課題を設定し、調査・発表活動を行う。
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	歴)近世の日本 地)日本のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と鎖国 調査テーマを設定し、調査する 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし、また、鎖国と鎖国下の日本の変化を考え、理解する。 日本の現状を位置と領域の面から大観する。 日本の地域構成の理解と地図活用能力を身につける。
	中旬			
	下旬			

その他、特記事項

- 地理学習の中から問題意識を持ち、背景や原因を考える力、そして国際理解や諸地域への理解を育てていくように努めたい。
- 歴史事象の相互関係を捉える力を養い、単に知識や事項の暗記とならぬよう心がける。
- 課題を設定し、調査したことを様々な手法を用いて、自らの言葉で表現できるようにする。

科目名	学年	単位数	分類
社会 (地理・歴史的分野)	2	3	必修

授業目標 地理 ・特色ある国々の学習を通して得た国際理解をもとに、日本の地形・産業・気候などを学び、地域の課題を考察し、公民学習に繋がるよう感覚を養う。 歴史 ・歴史をつくるのは自分たち一人一人の「人間」であることを学び、歴史を通して命の尊さなどを考えていく。
授業内容・テーマ 1年次の地理学習や歴史学習を通し学んだことを発展させ、課題を見つけ追求する力を磨くとともに、自らの生活に反映させられるように工夫する。
教科書・補助教材等 新しい社会 歴史(東京書籍), 栃木県版ニュータイプ中学歴史資料集 学び考える歴史 (浜島書店) 新しい社会 地理(東京書籍), 最新地理資料集 (明治図書), 中学社会一問一答問題集 (受験研究社) よくわかる社会の学習 地理Ⅱ・歴史Ⅱ・Ⅲ (明治図書), WinPass 地理・歴史(文理)
評価方法・基準 定期試験及び授業での活動状況や課題などの提出物を含む平常点等で総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 全員必修であるが、自ら問題意識を持ち、主体的に参加すること。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	上旬		
	中旬 下旬	地)日本のさまざまな地域 歴)近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 日本のすがた (主に過年度の復習) 江戸幕府の成立と鎖国 (主に過年度の復習) <ul style="list-style-type: none"> 日本の現状を位置と領域の面から改めて大観する。 日本の地域構成の理解と地図活用能力を再確認する。 産業の発達を学び、課題点を見つける。 幕府の成立の経緯と政治制度のあらましを理解する。
5月	上旬		
	中旬 下旬	地)世界から見た日本のすがた 歴)近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界から見た日本の自然環境 産業の発達と幕府政治の動き <ul style="list-style-type: none"> 世界的視野から、日本の地形や気候の特色を理解する。また、自然のもたらす恩恵と災害を知り、防災への方策を考える。 江戸時代における学問の発達を理解し、その中から新しい時代を切り開く動きを捉える。 町人文化や地方文化に関心を持ち、現代につながる場所を見つける。
6月	上旬		
	中旬 下旬	地)世界から見た日本のすがた 歴)開国と近代日本の歩み	<ul style="list-style-type: none"> 世界からみた日本の人口 欧米の進出と日本の開国 <ul style="list-style-type: none"> 世界の各地域に関して、学習テーマを設定し特色を捉え、理解を深める。 欧米諸国のアジア進出を近代革命などを通して理解させる。 開国の影響とその後の政治の推移を多面的・多角的に捉える。
7月	上旬		
	中旬 下旬	地)世界から見た日本のすがた 歴)開国と近代日本の歩み	<ul style="list-style-type: none"> 世界から見た、日本の資源 エネルギーと産業 世界と日本の結びつき 明治維新 <ul style="list-style-type: none"> 世界的視野からエネルギーに関する問題や環境問題を理解する。 世界と日本の結びつきを大観する。 日本の近代国家の形成と欧米諸国との関わりを理解する。
8月	上旬		
	中旬 下旬		

9月	上旬	地)世界から見た日本のすがた 歴)開国と近代日本の歩み	<ul style="list-style-type: none"> 世界から見た、日本の資源エネルギーと産業 世界と日本の結びつき 明治維新 	<ul style="list-style-type: none"> 世界的視野からエネルギーに関する問題や環境問題を理解する。 世界と日本の結びつきを大観する。 日本の近代国家の形成と欧米諸国との関わりを理解する。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	地)日本の諸地域 歴)開国と近代日本の歩み	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方 日清、日露戦争と近代産業 	<ul style="list-style-type: none"> 地域的特色について環境問題や環境保全を産業や開発の動向などと関連付けて考察する。 日本で近代産業が発展したことを、大陸との関係や国内外の反応、韓国の植民地化などから理解する。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	地)日本の諸地域 歴)二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> 中国四国地方 第一次世界大戦と日本 	<ul style="list-style-type: none"> 地域的特色について都市と農業の変化を生活や産業などと関連付けて考察する。 第一次世界大戦前後の世界情勢を背景に日本の国際的地位の変化や大正時代の国内の動きを通して日本国民の政治的自覚の高まりを理解する。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	地)日本の諸地域 歴)二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方 世界恐慌と日本の中国侵略 	<ul style="list-style-type: none"> 地域的特色を自然的条件と社会的条件の両面から考察する。・世界経済の変容と国際社会に及ぼした影響を考え、さらに日本経済の混乱や政治の流れの変化を学ぶ。
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	地)日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方 	<ul style="list-style-type: none"> 地理的特色を中枢機能が集中していることに着目し日本各地や世界的結びつきを捉える。
	中旬			
	下旬			
2月	上旬	地)日本の諸地域 歴)二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方 第二次世界大戦と日本 	<ul style="list-style-type: none"> 地域的特色を伝統的な生活や文化を通し、自然環境や歴史的背景など多面的に考察する。 第二次世界大戦の要因や概要について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較ながら考える。
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	地)日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方 日本をながめて 	<ul style="list-style-type: none"> 地域的特色を、自然環境の特色と関連づけて捉える。 七つの地方のまとめ
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 自国についての理解を深めるとともに、国際社会の中の日本という捉え方が出来るようなアプローチを心がけていく。
- 考察したことを、自らの言葉で、様々な手法を用い表現できるようにする。
- 戦争という歴史的事象を通し、生命尊重や平和について考えが深められるようにする。

科目名	学年	単位数	分類
社会 (公民的分野)	3	4	必修

授業目標 ・現代社会の一員として、成り立ちを概観し、特色に気付かせる。解析力、問題発言能力、自己表現等を育む力を養うことを目指す。
授業内容・テーマ 主権者として社会的関心、意欲を持たせ社会広範にわたっての知識を習得させる。単なる暗記による知識に終始することなく、自らの諸判断をくだすための知識を養う。
教科書・補助教材等 新しい社会 公民分野(東京書籍), 栃木県版 ビジュアル公民(とうほう) 栃木県リハーサル社会(浜島書店), ファイル, 整理と対策(吉野教育図書), 整理と対策Wノート よくわかる社会の学習 公民(明治図書), WinPass歴3・公民(文理), 公民基本用語集
評価方法・基準 定期試験及び授業での活動の状況や課題などの提出物を含む平常点等で総合的に評価
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 全員必修である。探究心がもてるよう、授業での知識、理解したことなどをノートにまとめる。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	地)2年時未終了事項 歴)現代の日本	・太平洋戦争と戦後の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・太平洋戦争の概観を学び、その状況と命の尊さを考える。 ・戦後の日本について既習事項を整理しまとめる。 	
				上旬
5月	わたしたちの生活と現代 社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会とわたしたちの生活 ・わたしたちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが生きる現代社会を概観し学ぶ。 ・様々な資料から現代日本の特色や文化の持つ意義について読み取り、現代社会をとらえる力を身につける。 	
				上旬
6月	人間の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に具体的活動などを通して理解する。 ・日本国憲法の基本原理を理解する。 	
				上旬
7月	現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の民主政治 ・国の政治のしくみ ・地方政治と自治 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治に関心を持ち、主権者として政治に関わる気持ちを持つ。 ・議会制民主主義や住民自治の意義を考える。 ・新聞記事などから現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえる。 	
				上旬
8月				
				上旬
上旬				
	中旬			
下旬				

9月	上旬	現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の民主政治 ・国の政治のしくみ ・地方政治と自治 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治に関心を持ち、主権者として政治に関わる気持ちを持つ。 ・議会制民主主義や住民自治の意義を考える。 ・新聞記事などから現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえる。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	わたしたちのくらしと経済	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしと経済 ・生産と労働 ・価格の動きと金融 ・国民生活と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ・討論やシュミレーションなどの学習活動を展開し、経済に対し関心を持ち、課題を自ら考える。 ・資料の読み取りや収集・選択した資料をもとにまとめるなどの表現学習から経済的事象をとらえる見方・考え方を身につける。 ・国民生活や福祉を学びながら、財源の確保などの問題について考える。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	地球社会とわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と地球平和 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会が抱える諸課題に対する関心を高める。 ・様々な資料を適切に収集・選択して多面的・多角的に考察する。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	地球社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・国際問題とわたしたち ・よりよい社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のため、各国が主権を尊重し、協力しあう必要性を認識する。 ・事実を正確にとらえ、公正に判断し、適切に表現できる力を身につける。
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	3年間の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・入試対策や高校準備対策として総合問題や記述問題を行う。
	中旬			
	下旬			
2月	上旬			
	中旬			
	下旬			
3月	上旬			
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 社会的諸問題を思考し表現する学習の導入により、事象を総合的に考えることのできる広い視野と自らの言葉を使って表現する力を育てていく。また、総仕上げの学年として、問題演習などにより中学生としての確実な実力の完成を図る。

科目名	学年	単位数	分類
数学	1	4.7	必修

授業目標

・中高6年間の数学の基礎となる計算力の徹底をはかり、文字式を自由に扱えるようにする。

授業内容・テーマ

正の数・負の数、文字と式、方程式、比例と反比例、平面図形、空間図形、資料の整理と活用

教科書・補助教材等

中学数学1 (教育出版)

WinPass 中学数学1 (文理) 基礎から発展へ 数学1年 (正進社)

評価方法・基準

定期試験、提出物などによる平常点をもとに総合的に評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

1学期は、数学4時間となる。

2・3学期は、数学5時間となり、1時間習熟度別の少人数となる。(クラス分けは希望による。)

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	正の数・負の数	・正の数・負の数の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数への理解を高める。 ・正の数・負の数に関わる加法と減法を理解する。 ・正の数・負の数に関わる乗法と除法を理解する。 ・分数、小数を含む複雑な計算演習をする。
		・正の数・負の数の加法と減法	
		・正の数・負の数の乗法と除法	
5月	文字と式	・正の数・負の数の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使って数量を表す。
		・文字の使用	
		・式の計算	
6月	文字と式	・式の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・等式の表し方を理解する。 ・不等式を使った式で表す。
		・数量の関係を表す式	
		・方程式とその解き方	
7月	方程式	・方程式の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・等式の性質を使った式の変形を理解する。 ・文章問題を方程式を使って解く。
8月			

9月	上旬	比例と反比例	・比例	・比例の式 $y = ax$ を理解し、グラフをかく。
	中旬		・反比例	・反比例の式 $y = \frac{a}{x}$ を理解し、グラフをかく。
10月	上旬	平面図形	・比例、反比例の活用	・文章問題をグラフを使って解く。
	中旬		・平面図形の基礎	・2直線の平行と垂直や距離、おうぎ形の性質を理解する。
11月	上旬	平面図形	・作図	・コンパス、定規で作図する方法を理解する。
	中旬		・平面図形の移動	・平行移動、対称移動、回転移動について理解する。
	下旬		・円とおうぎ形の計量	・おうぎ形の弧の長さや面積を求める。
12月	上旬	空間図形	・立体の基礎	・立体の特徴を理解する。
	中旬		・立体の見方と調べ方	・空間での直線や平面の位置関係を理解する。 ・いろいろな立体を正面や真上から見て、それらの特徴を理解する。
1月	上旬	空間図形		
	中旬		・立体の体積と表面積	・いろいろな立体の体積と表面積を求める。
2月	上旬	資料の整理と活用	・資料の整理	・ヒストグラムや代表値、累積度数の必要性和意味を理解する。
	中旬		・資料の活用	・ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明ができるようにする。
3月	上旬	1年まとめ		・問題集やプリント学習を通して、応用力を身につける。
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

○習熟度別の少人数指導は、問題演習を中心に行う。

科目名	学年	単位数	分類
数学	2	5	必修

授業目標 ・意欲・関心・態度，数学的思考方，表現・処理，知識・理解の4つの観点と照らし合わせながら， 中学2年生で習得すべき内容を十分に理解し，基礎学力の定着を図る。
授業内容・テーマ 式の計算，連立方程式，1次関数，平行と合同，三角形と四角形，確率，資料の散らばり
教科書・補助教材等 中学数学2（教育出版） WinPass 中学数学2（文理） 基礎から発展へ 数学2年（正進社）
評価方法・基準 定期試験，提出物などによる平常点をもとに総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 数学5時間のうち1時間，習熟度別の少人数となる。（クラス分けは希望による。）

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	式の計算	・式の計算	・単項式や多項式について理解する。
		・式の活用	・文章問題を文字を使って解く。
5月	連立方程式	・連立方程式とその解き方	・連立方程式の解法を理解する。 ・やや難しい連立方程式の解法を理解する。
		・連立方程式の活用	・文章問題を連立方程式を使って解く。
6月	1次関数	・1次関数	・関数の概念を理解する。 ・グラフのかき方を理解する。 ・グラフや条件から直線の式の求め方を理解する。
7月			
8月			

9月	上旬	1次関数	・1次関数と方程式	・2元1次方程式のグラフや連立方程式とグラフについて理解し、解く。
	中旬 下旬		・1次関数の活用	・1次関数を活用した問題をグラフなどを用いて解く。
10月	上旬	平行と合同	・平行線と角	・対頂角、同位角、錯角の意味を理解する。 ・対頂角の性質、平行線の性質、平行線になるための条件を理解する。 ・多角形の角について考える。
	中旬 下旬		・合同と証明	・合同の意味を理解する。 ・三角形の合同条件を理解する。 ・証明のしくみを理解する。
11月	上旬	三角形と四角形	・三角形	・二等辺三角形や正三角形の定義や定理を理解し、定理を証明する。 ・直角三角形の合同条件を理解する。
	中旬 下旬		・四角形	・平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を理解し、その証明をする。
12月	上旬	三角形と四角形	・四角形	・特別な平行四辺形の定義や定理を理解し、定理を証明する。 ・平行線と面積について考え、理解する。
	中旬 下旬			
1月	上旬	確率	・確率	・確率の考え方を理解し、解く。
	中旬 下旬		・資料の散らばり	・四分位数と四分位範囲を理解する。 ・箱ひげ図を理解する。
2月	上旬	2年まとめ		・問題集やプリント学習を通して、応用力を身につける。
	中旬 下旬			
3月	上旬			
	中旬 下旬			

その他特記事項

○ 習熟度別の少人数指導は、問題演習を中心に行う。

科目名	学年	単位数	分類
数学	3	5	必修

授業目標

- ・ 中学3年間の学習内容を定着させることにより、高校数学のための土台となる基礎学力を身につける。

授業内容・テーマ

式の計算, 平方根, 2次方程式, 関数 $y = ax^2$, 相似な図形, 円
三平方の定理, 標本調査

教科書・補助教材等

中学数学3 (教育出版) WinPass 中学数学3 (文理)
基礎から発展へ 数学3年 (正進社) 栃木県リハーサル数学 (浜島書店)

評価方法・基準

定期試験、提出物などによる平常点をもとに総合的に評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

数学5時間のうち1時間、習熟度別の少人数となる。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	式の計算	・ 多項式の乗法と除法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分配法則や乗法公式をもとに、展開や因数分解ができる。 ・ 素数の意味を理解し、自然数の素因数分解ができる。 ・ 式の展開や因数分解を活用して、図形や数の性質を調べることができる。
		・ 因数分解	
		・ 式の活用	
5月	平方根	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平方根 ・ 平方根の計算 ・ 平方根の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平方根の意味を理解し、その計算ができる。 ・ 平方根を活用して、文章問題を解くことができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次方程式とその解き方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次方程式の解の意味を理解し、因数分解や平方根を利用して解を求めることができる。
6月	2次方程式	・ 2次方程式の活用	・ 2次方程式を活用して、文章問題を解くことができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 関数 $y = ax^2$ ・ 関数 $y = ax^2$ の活用 ・ いろいろな関数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関数 $y = ax^2$ の意味を理解し、グラフの特徴や変化の割合について理解する。 ・ 関数 $y = ax^2$ を活用して、文章問題を解くことができる。 ・ 身のまわりにある関数を理解し、変化や対応のようすを調べることができる。
7月	関数 $y = ax^2$		
8月			

9月	上旬	相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形 平行線と線分の比 相似な図形の面積の比と体積の比 	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形について理解する。 相似な図形の性質を理解する。 三角形の相似条件について考え、その証明をする。 三角形と平行線の定理、平行線と線分の比の定理、中点連結定理などを根拠として、図形の性質を考察し証明できる。
	中旬			
10月	上旬		<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形を活用して、いろいろな問題を解くことができる。
	中旬			
11月	上旬	円	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理 円周角の定理の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の意味や円周角の定理を理解する。 円周角の定理を利用して角の大きさを求める。 円周角の定理やその逆を利用して図形の性質を証明ができる。
	中旬			
12月	上旬	三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理 三平方の定理の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の3辺の長さの間に三平方の定理が成り立つことを理解し、その証明ができる。 平面図形や空間図形に活用することができる。
	中旬			
1月	上旬	標本調査	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査 	<ul style="list-style-type: none"> 全数調査と標本調査について理解する。 母集団の数の推定や平均の推定ができるようにする。
	中旬			
2月	上旬	入試対策	<ul style="list-style-type: none"> 総合問題 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集やプリントを用いた学習
	中旬			
3月	上旬			
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 習熟度別の少人数指導は、問題演習を中心に行う。なお、1・2学期は希望により分ける。
3学期は、進路別に分ける。

科目名	学年	単位数	分類
理科	1	4	必修

授業目標 科学的なものの見方を身につける。自然現象に興味・関心を持ち、知的好奇心を育成する。 自ら考え、課題の解決法を身につける。
授業内容・テーマ 植物の世界、身のまわりの物質、身のまわりの現象、大地の変化
教科書・補助教材等 新編新しい科学1年(東京書籍), 新編新しい科学1年移行用補助教材(東京書籍) 理科資料～栃木県版～(とうほう), わたしたちの理科研究(栃木県小・中学校教育研究会理科部会) 理科の学習1(明治図書), 週のまとめ理科1年(五ツ木書房)
評価方法・基準 定期試験, 実力試験, 単元テスト, 実験観察レポート, ノート, その他課題を総合的に判断して評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画(*は実験・観察および実習, ☆は発展内容)

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	植物の世界	身近な生物を観察しよう	授業の受け方, ルーペ・顕微鏡の使い方, スケッチのしかた, レポートの書き方, 発表のしかた *自然観察 *種子植物の花のつくり *裸子植物と被子植物
		花のつくりとはたらき	
5月		葉, 茎, 根のつくりとはたらき	*葉の表皮と内部のつくり *根のつくり 種子植物の分類 種子をつくらない植物 *シダ植物のからだのつくり
		植物の分類	
6月		動物の分類	セキツイ動物 *無セキツイ動物の特徴 無セキツイ動物 動物を分類しよう
7月	身のまわりの物質	身のまわりの物質とその性質	*金属と非金属の区別 実験器具の使い方 密度 *白い粉末の区別 プラスチック ☆プラスチックの種類
8月			

9月	上旬	身のまわりの物質	気体の性質	【自由研究まとめ】	*二酸化炭素と酸素の区別 気体の性質と集め方 ☆身のまわりの気体と注意が必要な気体 *水にとける物質のようす *水にとけた物質をとり出す
	中旬		水溶液の性質		
10月	上旬		物質の姿と状態変化	【自然観察3】	☆昇華 *状態変化 *沸点 *蒸留 グラフのかき方1 ☆分留
	中旬				
11月	上旬	身のまわりの現象	光の世界		*光の反射 *光の屈折 *凸レンズの性質 ☆虹の色 ☆目の凸レンズ
	中旬		音の世界		音の伝わり方 *音の性質
12月	上旬		いろいろな力の世界		*力の大きさとばねののび グラフのかき方2 ☆万有引力の発見
	中旬				
1月	上旬			【自然観察4】	*2力のつり合い
	中旬				
2月	上旬	大地の変化	火をふく大地		*火山噴出物 *火成岩のつくり
	中旬		動き続ける大地		*地震のゆれの広がり *自然の恵みと火山災害・地震災害
3月	上旬		地層から読み取る大地の変化		*堆積岩のつくり *地層の観察
	中旬		自然の恵みと火山災害・地震災害		
	下旬				

その他特記事項

科目名	学年	単位数	分類
理科	2	4	必修

授業目標 科学的なものの見方を身につける。自然現象に興味・関心を持ち、知的好奇心を育成する。 自ら考え、課題の解決法を身につける。自然現象の原因を理解する。
授業内容・テーマ 化学変化と原子・分子、動物の生活と生物の変遷、天気とその変化、電気の世界
教科書・補助教材等 新編新しい科学2年(東京書籍)、移行期対応新編新しい科学1,2年補助教材(東京書籍) 理科資料～栃木県版～(とうほう)、わたしたちの理科研究(栃木県小・中学校教育研究会理科部会) 理科の学習2(明治図書)、週のまとめ理科2年(五ツ木書房)、整理と対策理科(明治図書)
評価方法・基準 定期試験、実力試験、単元テスト、実験観察レポート、ノート、その他課題を総合的に判断して評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画(*は実験・観察および実習, ☆は発展内容)

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	化学変化と 原子・分子	物質のなり立ち	〔気象観察1〕 *炭酸水素ナトリウムの分解 *水の電気分解 ☆周期表 ☆電子顕微鏡 物質と原子の記号
		物質どうしの化学変化	*鉄と硫黄の化合 *化学変化のモデル ☆気体反応の法則
		酸素がかかわる化学変化	*鉄の燃焼 *酸化銅の還元
5月		化学変化と物質の質量	*質量保存の法則 *定比例の法則
		化学変化とその利用	*化学変化と温度変化
6月	動物の生活と 生物の変遷	動物の飼育, 観察 生物と細胞	*細胞のつくり
		動物のからだのつくりと はたらき	*だ液による消化 血液のはたらき
7月			
8月			

9月	上旬	動物の生活と 生物の変遷		D R A F T S 「気象観察4」	* 刺激に対する反応
	中旬		動物の分類		* 無セキツイ動物の特徴 無セキツイ動物 動物を分類しよう
10月	上旬	天気とその変化	気象の観測と雲のでき方	「気象観察5」	☆ 系統樹 * 気象観測 * 露点 * 雲のでき方 * 等圧線の読み方
	中旬		前線とまわりの天気の変化		* 温帯低気圧3Dモデル ☆ 閉そく前線
11月	上旬		大気の動きと日本の天気		☆ エルニーニョ現象 * 翌日の天気の予想 気象災害への備え
	中旬				
12月	上旬	電気の世界	静電気と電流		* 静電気の性質 放射線の性質と利用 ☆ X線
	中旬				
1月	上旬	電気の世界	電流の性質	「気象観察6」	実験器具の使い方 * 回路を流れる電流 * 回路に加わる電圧 ☆ 物体の形状と抵抗 ☆ 半導体 * オームの法則 * 電熱線の発熱量
	中旬		電流と磁界		* コイルによる磁界 * 磁界の中の電流が受ける力 * 電磁誘導 ☆ レンツの法則 ☆ 柱上変圧器
2月	上旬				
	中旬				
3月	上旬		【1, 2年の復習】		
	中旬				
	下旬				

その他特記事項

--

科目名	学年	単位数	分類
理科	3	4	必修

授業目標 自然現象に対する関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に調べる能力・態度を育てる。それに伴い、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。(中学3年間の総括)
授業内容・テーマ 化学変化とイオン, 生命の連続性, 運動とエネルギー, 地球と宇宙, 科学技術と人間, 自然と人間, 地球とわたしたちの未来のために
教科書・補助教材等 新編新しい科学3年(東京書籍) 理科資料～栃木県版～(とうほう), わたしたちの理科研究(栃木県小・中学校教育研究会理科部会) 理科の学習3(明治図書), 週のまとめ理科3年(五ツ木書房) 整理と対策理科(明治図書), WinPass理科学(文理), 栃木県リハーサル理科(浜島書店)
評価方法・基準 定期試験, 実力試験, 単元テスト, 実験観察レポート, ノート, その他課題を総合的に判断して評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画(*は実験・観察および実習, ☆は発展内容)

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	化学変化とイオン	水溶液とイオン	*電解質と非電解質 *塩化銅水溶液の電気分解 ☆電子配置でみるイオンのなりたち ☆電気分解をイオンで考える
		化学変化と電池	☆イオン化傾向 ☆電池と電気分解装置のちがい
		酸, アルカリとイオン	*酸性, アルカリ性の水溶液 *イオンの移動 *中和
6月	生命の連続性	生物の成長と生殖	*細胞分裂 *花粉管 ☆卵と赤ちゃん ☆イチョウと受精 ☆精子と卵
		遺伝の規則性と遺伝子	☆丸形としわ形のちがい *遺伝子の組み合わせ ☆DNA ☆遺伝子組換え技術 ☆光るマウス
8月			

9月	上旬	運動とエネルギー	物体のいろいろな運動	〔星座の観察3〕	*水平な面上での台車の運動 *斜面を下る台車の運動 ☆真空中での落下運動
	中旬		力の規則性		力のつり合い (合力・分力の作図) *角度をもってはたらく2力
10月	上旬		エネルギーと仕事	(三年間の問題演習)	*物体のもつエネルギー *仕事と力学的エネルギーの関係 *仕事の原理 *エネルギーの変換効率
	中旬				
11月	上旬	地球と宇宙	宇宙の広がり	〔月の観察〕	星空をながめよう *太陽表面のようす ☆太陽系と生命 ☆太陽系外の生命の存在 ☆宇宙の探究
	中旬		地球の運動と天体の動き		*太陽の日周運動 *星の日周運動 *地球の公転と星座 *季節の変化
12月	上旬		月と惑星の見え方	〔星座の観察4〕	*月の形と位置 ☆恒星の誕生
	中旬				
1月	上旬	地球と私たちの未来のために	自然のなかの生物	(三年間の総復習)	生態系 ☆エネルギーの移動 ☆生物の多様性
	中旬		自然環境の調査と環境保全		*身近な自然環境の調査
2月	上旬		自然の恵みと災害		自然災害, 災害の調査
	中旬		科学技術と人間		科学技術の発展 エネルギー資源の利用
3月	上旬		持続可能な社会をつくるために		自然環境の保全と科学技術の利用
	中旬				
	下旬				

その他特記事項

科目名	学年	単位数	分類
音楽	1	1.3	必修

授業目標 音楽の基礎的・創造的な能力の伸長を目指し、音や音楽への興味・関心を持たせ、基礎的な表現の技能を身に付け豊かな情操を養う。
授業内容・テーマ 小学校で学ぶべき基礎的な理論の復習を行いながら、知識を深める。伸びやかな声が出る発声法の指導をする。また、アルトリコーダーを導入し新しい運指に慣れさせる。 ※実技については2学期以降を予定。
教科書・補助教材等 音楽のおくりもの中学音楽1(教育出版)、音楽のおくりもの中学器楽(教育出版) パノラマワイド版 音楽 表現と鑑賞の資料(正進社)、ミュージックノート(正進社)…※この補助教材2冊は3年間使用。
評価方法・基準 ・理論テスト、歌唱テスト、器楽テスト、授業態度、提出物
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) アルトリコーダー持参

学習計画

1年

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	上旬		
	中旬	オリエンテーション	・音楽の時間の約束について
	下旬	学院歌(歌詞を覚える)	・小学校で学んだ理論の復習
5月	上旬	楽典	・音符と休符
	中旬	楽典	・拍と拍子
	下旬		・速度記号、反復記号
6月	上旬	楽典	・強弱記号、演奏するときに使う記号
	中旬		・譜表
	下旬		
7月	上旬	西洋の音楽	ルネサンスの音楽
	中旬		バロックの音楽
	下旬		
8月	上旬		
	中旬		
	下旬		

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
9月	上旬	アルトリコーダー ・アルトリコーダーの実践(初級)	・基本的な運指を覚える。 ・正しい運指で吹ける。 ・さまざまなタンギングを習得して吹ける。
	中旬		
	下旬		
	下旬		
10月	上旬	日本の歌 ・「赤とんぼ」を歌う ・歌の作者や背景について知る ・歌唱のテスト	・音程をただしく取れる。 ・歌詞の意味や構成について理解させる。 ・歌詞を味わいつつのびやかに歌う。
	中旬		
	下旬		
	下旬		
11月	上旬	クリスマス礼拝に向けて ・クリスマス讃美歌の練習	・歌詞や音程を丁寧に確認する。 ・荘厳な雰囲気ので心を落ち着かせる。 ・心と声を合わせて丁寧に歌う。
	中旬		
	下旬		
	下旬		
12月	上旬	アルトリコーダー ・3学期の器楽のテストに備え、復讐する	・正しい運指・タンギングを身に付ける。
	中旬	西洋の音楽 ・鑑賞 シューベルト「魔王」	・西洋の音楽と文学との関わりを知り物語の進行と曲想の変化を親しむ。
	下旬		
	下旬		
1月	上旬		
	中旬	アルトリコーダー ・アルトリコーダーの実技のテスト	・アルトリコーダーの技術の確認。 ・正しい運指・タンギングの復習。
	下旬		
	下旬		
2月	上旬	西洋の音楽 ・鑑賞 ヴィヴァルディ「春」	・西洋の音楽と文学との関わりを知り物語の進行と曲想の変化を親しむ。
	中旬		
	下旬	卒業式に向けて 卒業式の歌(仰げば尊し・蛍の光)の練習	・卒業式に向け、感謝の気持ちを込め豊かな声で歌う。
	下旬		
3月	上旬		
	中旬	琴・尺八の実習 ・日本の楽器の響きに親しむ(琴、尺八) ・1年時のまとめ	・日本の楽器や曲に親しむ。琴や尺八の体験学習をする。(さくらさくら等)・復習プリントを用いて1年間を振り返る。
	下旬		
	下旬		

その他特記事項

- 例年7月に実施していた校内合唱コンクール(教育会館)は、コロナ状況により2学期以降に延期。2学期以降状況を踏まえ再度検討。
- 冬季休業明けからは、卒業式に備えての事前準備を平行して行う予定。
- 箏の授業では、プロの演奏家を外部講師としてお招きし、箏・尺八の演奏にも挑戦する。

科目名	学年	単位数	分類
音楽	2	1	必修

授業目標

1年時に学んだ理論と実技の基本を更に深めながら、バランス良く活動の視野を広げ、音楽に対する関心、意欲、態度を尚一層高め、音楽活動の楽しさや喜びを感じ豊かな情操を養う。

授業内容・テーマ（※実技に関しては2学期以降に実施予定） 歌唱やリコーダー、ともに基礎力を更に高め、幅広い観点から楽曲に対して意欲的に取り組めるようにする。理論や音楽史も進める。

教科書・補助教材等

音楽のおくりもの中学音楽2・3上(教育出版)、音楽のおくりもの中学器楽(教育出版)

パノラマワイド版 音楽 表現と鑑賞の資料(正進社)、ミュージックノート(正進社)…※この補助教材2冊は3年間使用。

評価方法・基準

・理論テスト、歌唱テスト、器楽テスト、授業態度、提出物

パノラマワイド版 音楽 表現と鑑賞の資料(正進社)

受講にあたって留意すべき事(受講条件等) アルトリコーダー持参

学習計画

2年

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	楽典	・音符と休符	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の資料を用い、音楽の基礎を学ぶ(p16～23 調まで) ・それぞれの名称をしっかりと覚える ・拍に規則的なまとまりがあることを理解し、拍感を感じられるようにする。
		・拍と拍子	
5月	楽典	・速度記号、反復記号	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの速さ、強弱を学ぶことによって演奏にどう生かせるかを考えさせる。 ・演奏記号や曲想を表す言葉にも理解をひろげ、より表現の幅を広げられるようにする。
		・強弱記号、演奏するときに使う記号	
6月	楽典	・譜表、音名と音程	<ul style="list-style-type: none"> ・五線譜の基本を学び、楽譜理解を深める。 ・基本的な楽典をもとに、音と音とのつながりや関係性を学ぶ。
		・音階、調	
7月	西洋の音楽	・ルネサンスの音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜鑑賞を取り入れ、特徴を捉えつつ学ぶ。
		・バロックの音楽	
8月			

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
9月	上旬 アルトリコーダー	・アルトリコーダーの実践(中級)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の復習をし、運指の確認をする。新たな運指も覚えて使えるようにする。 ・高音や低音等の出しにくい音も、美しい音色で吹ける。 ・「もみじ」「ふるさと」「風の通り道」等の曲を練習し、フレーズを感じながら演奏できるようにする。
	中旬		
	下旬		
10月	上旬 日本の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・「早春賦」を歌う ・歌の作者や背景について知る ・歌唱のテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を味わって歌う。
	中旬		<ul style="list-style-type: none"> ・のびやかに堂々と歌う。
	下旬		
11月	上旬 クリスマス礼拝に向けて	・クリスマス讃美歌の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞や音程を丁寧に確認する。 ・荘厳な雰囲気です心を落ち着かせる。 ・心と声を合わせて歌う。
	中旬		
	下旬		
12月	上旬 アルトリコーダー	・3学期の器楽のテストに備え、復習する	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい運指・タンギングの確認。
	中旬 西洋の音楽	・鑑賞 ベートーヴェン「交響曲第5番」	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の音楽と文学との関わりを知り物語の進行と曲想の変化を親しむ。
	下旬		
1月	上旬		
	中旬 アルトリコーダー	・アルトリコーダーの実技のテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの技術の確認。
	下旬		
2月	上旬 西洋の音楽	・鑑賞「展覧会の絵」	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の音楽と文学との関わりを知り物語の進行と曲想の変化を親しむ。
	中旬		
	下旬 卒業式に向けて	卒業式の歌(仰げば尊し・蛍の光)の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式に向け、感謝の気持ちを込め豊かな声で歌う。
3月	上旬		
	中旬 総合	2年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを通して2年間で振り返る。
	下旬		

その他特記事項

- 例年7月に実施していた校内合唱コンクール(教育会館)は、コロナ状況により2学期以降に延期。2学期以降状況を踏まえ再度検討。
○冬季休業明けからは、卒業式に備えての事前準備を平行して行う予定。

科目名	学年	単位数	分類
音楽	3	1	必修

授業目標

歌唱、器楽(リコーダー)、鑑賞、理論の総復習を行い、音楽に対する総合的な理解を深めつつ、より専門的な興味、関心、意欲を喚起させる。また、音楽活動の楽しさや喜びを感じ、豊かな情操を養う。

授業内容・テーマ

- ・合唱コンクールでは、最高学年としてのハーモニーを聞かせクラスが一致団結し音楽活動の楽しさを感じる。(2学期以降に延期予定)
- ・1年時からの西洋音楽史の総まとめを行う。曲の背景を学びつつ鑑賞をより充実させ、音楽に対しての感性を伸長させる。
- ・音楽の知識もさらにふかめ、3年間のまとめを確実にを行う。(※実技に関しては2学期以降に実施予定)

教科書・補助教材等

音楽のおくりもの中学音楽2・3下(教育出版)、音楽のおくりもの中学器楽(教育出版)
 パノラマワイド版 音楽 表現と鑑賞の資料(正進社)、ミュージックノート(正進社)…※この補助教材2冊は3年間使用。

評価方法・基準

- ・理論テスト、歌唱テスト、器楽テスト、授業態度、提出物

受講にあたって留意すべき事(受講条件等) アルトリコーダー持参

学習計画

3年

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	楽典	・音符と休符	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の資料を用い、音楽の基礎を学ぶ(p16～23 調まで) ・それぞれの名称をしっかりと覚える ・拍に規則的なまとまりがあることを理解し、拍感を感じられるようにする。
		・拍と拍子	
5月	楽典	・速度記号、反復記号	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの速さ、強弱を学ぶことによって演奏にどう生かせるかを考えさせる。 ・演奏記号や曲想を表す言葉にも理解をひろげ、より表現の幅を広げられるようにする。
		・強弱記号、演奏するときに使う記号	
6月	楽典	・譜表、音名と音程	<ul style="list-style-type: none"> ・五線譜の基本を学び、楽譜理解を深める。 ・基本的な楽典をもとに、音と音とのつながりや関係性を学ぶ。
		・音階、調	
7月	西洋の音楽	・ルネサンスの音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜鑑賞を取り入れ、特徴を捉えつつ学ぶ。
		・バロックの音楽	
8月			

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
9月	上旬 アルトリコーダー	・アルトリコーダーの実践(上級)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運指の確認をし、#やbなどの変化記号がついた、リズムが難解な曲でも吹けるようにする。 ・タンギングや運指のみならず、美しい音色で表情豊かに演奏できるようにする。 ・「星に願いを」およびアンサンブル等に挑戦する。
	中旬		
	下旬		
10月	上旬	・アルトリコーダーの実技のテスト	・アルトリコーダーの技術の確認。
	中旬		
11月	上旬	・クリスマス礼拝に向けて	・最高学年として学校行事を盛り上げ、声を合わせて歌うことの素晴らしさや音楽の美しさを感じ取る。
	中旬		
	下旬		
12月	上旬	・オペラ「アイーダ」の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラの生い立ちや特性について知る。 ・総合芸術の豪華さ、重厚さを感じることで、興味喚起する。
	中旬		
	下旬		
1月	上旬	日本の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱テストの実施(仰げば尊し・蛍の光) ・卒業式の歌をきちんと歌えているかの確認。 ・歌詞を味わい豊かな声で歌う。
	中旬		
	下旬		
2月	上旬	西洋の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 ラヴェル「ボレロ」 ・西洋の音楽と舞踊との関わりを知り音楽の進行と曲想の変化に親しむ。
	中旬		
	下旬		
3月	上旬	卒業式に向けて	・歌詞の確認、感謝の気持ちをこめて歌う。
	中旬		
	下旬		
3月	上旬	総合	・プリントを通して3年間を振り返る。
	中旬		
	下旬		

その他特記事項

○例年7月に実施していた校内合唱コンクール(教育会館)は、コロナ状況により2学期以降に延期。2学期以降状況を踏まえ再度検討。
○冬季休業明けからは、卒業式に備えての事前準備を平行して行う予定。

科目名	学年	単位数	分類
美術	1	1.3	必修

授業目標 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく美術活動に取り組む事によって、芸術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造してゆく基礎力を身につける。 ・様々な素材、技法を体験し表現の幅をひろげる。 ・自由なイメージをもって自分らしい抽象画を描く。
授業内容・テーマ <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な色彩理論、アイデアの展開方法、様々な技術による表現方法を身につける。
教科書・補助教材等 美術1 (日本文教出版) 美術 表現と鑑賞 (開隆堂) クロッキーブック トートバッグ
評価方法・基準 完成作品を中心に、アイデアスケッチや授業に取り組む姿勢、鑑賞の様子などを見て総合的に判断する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) アクリル絵の具セット、12色以上の色鉛筆を用意すること。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	ガイダンス	美術用品についての説明	・クロッキーブック等の用具の使用方法を理解する	
				上旬
5月	具象画「室内と屋外の風景」	形による遠近法の習得	・ワークシートを用いた、透視図法の学習をする (一・二・三点透視図法)	
				中旬
				下旬
6月	具象画「室内と屋外の風景」	明度による遠近法と立体感の習得	・ワークシートに、鉛筆で明暗差をつけて遠近感と立体感を表現する	
				中旬
				下旬
7月	具象画「室内と屋外の風景」	色彩による遠近法の習得	・アクリル絵具の特徴に慣れ、色相と彩度について理解する	
				中旬
				下旬
8月	具象画「室内と屋外の風景」			
				中旬
				下旬

9月	上旬	モダンテクニック	モダンテクニックの体験	・様々なモダンテクニックを体験し、特徴、用具等を学ぶ
	中旬			
	下旬			
10月	上旬		モダンテクニックの応用	・モダンテクニックの技能を活かし、コラージュの作品を制作する
	中旬			
	下旬			
11月	上旬		鑑賞	・課題に関連する作品の鑑賞を通して制作に対する理解を深める
	中旬			
	下旬			
12月	上旬		抽象画「イメージ」	抽象表現の基本
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	抽象表現の応用		・抽象的な絵画作品を制作する
	中旬			
	下旬			
2月	上旬	鑑賞		・抽象作品の鑑賞を通して、表現の理解を深める
	中旬			
	下旬			
3月	上旬			
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

○ 授業の中で制作された作品のなかで特に優秀なものは、宇都宮ジュニア芸術祭、下野教育美術展等へ出品・展示される。

科目名	学年	単位数	分類
美術	2	1	必修

授業目標 ・様々な素材・技法に触れ、表現の幅を広げる。 ・社会と美術との関係性について考える力を育成する。
授業内容・テーマ ・文字やサインなどと絵を組み合わせる面白みや実用性について考える。 ・身近な風景を版画にすることで地域に親しみを感じる。木版の技術を高める。 ・パブリックアートについて考えることで、社会の中の美術について理解を深める。
教科書・補助教材等 美術2・3上下（日本文教出版） 美術 表現と鑑賞（開隆堂） クロッキーブック トートバッグ
評価方法・基準 完成作品を中心に、アイデアスケッチや授業に取り組む姿勢、鑑賞の様子などを見て総合的に判断する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月 上旬 中旬 下旬	「絵」文字	絵と文字を組み合わせる絵文字を考案する	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングの基礎を習得する ・視覚伝達デザインの基礎を学習する ・鑑賞を通してデザインの面白さを味わう
5月 上旬 中旬 下旬			
6月 上旬 中旬 下旬			
7月 上旬 中旬 下旬			
8月 上旬 中旬 下旬			

9月	上旬 中旬 下旬			
10月	上旬 中旬 下旬	風景画の木版制作	ここに残る風景	<ul style="list-style-type: none"> ・写真撮影で構図の工夫を学ぶ ・一色木版による白黒のバランス感覚を身につける ・住んでいる地域に愛着を持つ ・鑑賞を通して風景画の多様な表現を知る
11月	上旬 中旬 下旬			
12月	上旬 中旬 下旬			
1月	上旬 中旬 下旬			
2月	上旬 中旬 下旬	パブリックアートを考える	パブリックアートのデザイン・考察	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックアートについて学び、デザインする ・粘土によるイメージ制作 ・相互鑑賞を行い、互いの発想や創造性について考えを深める
3月	上旬 中旬 下旬			

その他特記事項

○ 授業の中で制作された作品のなかで特に優秀なものは、宇都宮ジュニア芸術祭、下野教育美術展等へ出品・展示される。

科目名	学年	単位数	分類
美術	3	1	必修

授業目標

- ・問題意識を形にし、美術を通して自らの考えを社会に発信する力を身につける。
- ・抽象具象どちらかに偏らない柔軟な美術思考を身につける。

授業内容・テーマ

- ・美術で社会とのつながりについて考え、社会が抱える問題や必要なものは何か、自分には何ができるのかなど、考えを深める。
- ・作品制作を通じて伝える力を伸ばす。

教科書・補助教材等

美術 2・3 上下 (日本文教出版) 表現と鑑賞 (秀学社) クロッキーブック ポートフォリオ

評価方法・基準

完成作品を中心に、アイデアスケッチや授業に取り組む姿勢、鑑賞の様子などを見て総合的に判断する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	問題意識を形に	社会問題をテーマにした絵画・ポスターの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を通してポスターの効果を理解する ・ポスターの構成・効果を意識しながら制作を行う ・鑑賞によって理解を深める 	
				上旬
				中旬
5月	問題意識を形に	社会問題をテーマにした絵画・ポスターの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を通してポスターの効果を理解する ・ポスターの構成・効果を意識しながら制作を行う ・鑑賞によって理解を深める 	
				上旬
				中旬
6月	問題意識を形に	社会問題をテーマにした絵画・ポスターの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を通してポスターの効果を理解する ・ポスターの構成・効果を意識しながら制作を行う ・鑑賞によって理解を深める 	
				上旬
				中旬
7月	問題意識を形に	社会問題をテーマにした絵画・ポスターの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を通してポスターの効果を理解する ・ポスターの構成・効果を意識しながら制作を行う ・鑑賞によって理解を深める 	
				上旬
				中旬
8月	問題意識を形に	社会問題をテーマにした絵画・ポスターの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を通してポスターの効果を理解する ・ポスターの構成・効果を意識しながら制作を行う ・鑑賞によって理解を深める 	
				上旬
				中旬

9月	上旬 中旬 下旬			
10月	上旬 中旬 下旬	幻想世界	コラグラフによる幻想的な世界の表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コラグラフ等の木版以外の版画表現を知る ・抽象表現の効果的な使い方を学習する ・鑑賞を通して幻想的な絵画を味わう
11月	上旬 中旬 下旬			
12月	上旬 中旬 下旬			
1月	上旬 中旬 下旬			
2月	上旬 中旬 下旬	ピクトグラム	ピクトグラムのデザイン・考察	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの意義・役割を学習する ・簡略化・デザインの方法を学ぶ ・鑑賞を通して社会の中の美術の役割について考える
3月	上旬 中旬 下旬			

その他特記事項

○ 授業の中で制作された作品のなかで特に優秀なものは、宇都宮ジュニア芸術祭、下野教育美術展等へ出品・展示される。

科目名	学年	単位数	分類
保健体育	1	3.4	必修

授業目標

仲間と共にコミュニケーションを図りながら、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ能力を育てるとともに、健全な学校生活を送る基盤をつくる。

授業内容・テーマ

自己の能力・適性等に応じて運動に関心をもち、自ら進んで自主的かつ継続的に運動を実践し運動の楽しさや喜びを体得する。

教科書・補助教材等

体育 中学体育実技（栃木県版）
保健 中学校保健体育（大修館）
中学保健体育ノート（大修館）

評価方法・基準

①運動技能 ②保健及び実技理論
③授業への関心意欲・態度・努力の観点を元に総合評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

・指定体操着、指定体育館シューズ ・保健授業は男女共修クラス単位で実施

学習計画(・は体育 *は保健)

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	上旬			
	中旬	・オリエンテーション * (保健分野) ・運動やスポーツの 必要性と楽しさ ・からだの仕組み	・集団行動 ・体ほぐし運動	・整列・行進・準備運動のしかた
5月	下旬		・各種泳法の習得	・泳力別指導
	上旬	・水 泳		
6月	中旬	・陸 上 *からだの発育・発達	・新体力テストの測定 および陸上競技	・テスト8種目の練習と測定
	下旬	・ダンス *呼吸・循環機能の発達		
7月	上旬	*性機能の発達	・現代的なリズムのダンス	・リズムの特徴をとらえ全身で踊る。
	中旬			
8月	下旬			
	上旬			
8月	中旬			
	下旬			

9月	上旬	・器械運動	・運動会練習	・学年種目・集団演技の練習
	中旬	・陸上		・踊り方の特徴をとらえる。
	下旬	・ダンス *環境と健康	・リズムダンス	・表したいイメージをとらえる。
10月	上旬			
	中旬	・長距離走	・自己評価カードの使用	・各自で目標設定し長距離走を走りきる筋力・体力を養う。
	下旬			
11月	上旬	・球技 ①バレー	・基本技術の習得	・いくつかのパス等を習得し簡単なゲームを楽しむ。
	中旬	・器械運動	・マット運動の基本	・基本的な運動から、能力別に発展的な運動までを体験させる。
	下旬	・性とどう向き合うか		
12月	上旬	・球技 ②バスケット	・基本技術の習得	・パス・ドリブルシュート・フリースロー等の個人技術を習得し簡単なゲームを楽しむ。
	中旬	*心の発達①～③		
	下旬			
1月	上旬			
	中旬	・武道(剣道)	・基本動作の習得	・竹刀の構え方・面打ちを覚え跳躍面などの応用的な練習法を学ぶ。
	下旬	・バスケットボール *心の発達 (調和のとれた生活)	・フリースロー大会	・全クラス対抗戦
2月	上旬		・サッカー	・いくつかの種目の中から各自が選択し基本技術の習得とゲームの楽しさを学ぶ。
	中旬	・選択球技	・バドミントン	
	下旬	*自己形成	・テニス	
3月	上旬	*欲求不満やストレスの対処	・卓球	
	中旬		など	
	下旬			

その他特記事項

- 9月 運動会
- 10月 長距離走大会
- 悪天候や施設が使えない場合は、学習内容に関わるビデオ・DVDを使い理論学習。

科目名	学年	単位数	分類
保健体育	2	3	必修

授業目標 仲間と共にコミュニケーションを図りながら、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ能力を育てるとともに、健全な学校生活を送る基盤をつくる。
授業内容・テーマ 自己の能力・適性等に応じて運動に関心をもち、自ら進んで自主的かつ継続的に運動を実践し運動の楽しさや喜びを体得する。
教科書・補助教材等 体育 中学体育実技（栃木県版） 保健 中学校保健体育（大修館） 中学保健体育ノート（大修館）
評価方法・基準 ①運動技能 ②保健及び実技理論 ③授業への関心意欲・態度・努力の観点を中心に総合評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) ・指定体操着、指定体育館シューズ ・保健授業は男女共修クラス単位で実施

学習計画(・は体育 *は保健)

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	・オリエンテーション * (保健分野) 健康と環境①	・集団行動 ・体ほぐし運動 ・各種泳法の習得	・整列・行進・準備運動のしかた ・泳力別指導
5月			
6月	・陸上・体操	・新体力テストの測定および陸上競技	・テスト8種目の練習と測定
7月	・ダンス	・現代的なリズムのダンス	・リズムの特徴をとらえ全身で踊る。
8月			

9月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動 ・陸上 ・ダンス *健康と環境④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会練習 ・現代的なリズムダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年種目・集団演技の練習 ・踊り方の特徴をとらえる。 ・表したいイメージをとらえる。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 * (保健分野) 障害の防止①～③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードの使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で目標設定し長距離走を走りきる筋力・体力を養う。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・球技 ①バレー・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の確認 ・応用力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団スポーツの特性を理解しゲームを楽しむ。 ・全グループで対抗戦を実施。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> ②バスケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の習得球技 	<ul style="list-style-type: none"> ・パス・ドリブルシュート・フリースロー等の個人技術を習得し、簡単なゲームを楽しむ。
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・武道(剣道) ・球技 ③バスケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の確認と発展的な技の習得 ・フリースロー大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・切り返しなどの基本動作の習得と実践に近い技の習得 ・全クラス対抗戦
	中旬			
	下旬			
2月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> * (保健分野) 生活習慣病・薬物乱用 ・選択球技 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・バドミントン ・テニス ・卓球など 	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの種目の中から各自が選択し基本技術の習得とゲームの楽しさを学ぶ。
	中旬			
	下旬			
3月	上旬			
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 9月 運動会
- 10月 長距離走大会
- 悪天候や施設が使えない場合は、学習内容に関わるビデオ・DVDを使い理論学習。

科目名	学年	単位数	分類
保健体育	3	3	必修

授業目標 仲間と共にコミュニケーションを図りながら、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ能力を育てるとともに、健全な学校生活を送る基盤をつくる。
授業内容・テーマ 自己の能力・適性等に応じて運動に関心をもち、自ら進んで自主的かつ継続的に運動を実践し運動の楽しさや喜びを体得する。
教科書・補助教材等 体育 中学体育実技（栃木県版） 保健 中学校保健体育（大修館） 中学保健体育ノート（大修館）
評価方法・基準 ①運動技能 ②保健及び実技理論 ③授業への関心意欲・態度・努力の観点を元に総合評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) ・指定体操着、指定体育館シューズ ・保健授業は男女共修クラス単位で実施

学習計画（・は体育 *は保健）

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	・オリエンテーション *（保健分野） 健康な生活	・集団行動 ・体ほぐし運動 ・各種泳法の習得	・整列・行進・準備運動のしかた ・泳力別指導	
				上旬 中旬 下旬
5月	・水泳			
				上旬 中旬 下旬
6月	・陸上・体操	・新・体力テストの測定および 陸上競技	8種目の練習と測定。	
				上旬 中旬 下旬
7月	・ダンス	・現代的なリズムのダンス	・リズムの特徴をとらえ全身で踊る。	
				上旬 中旬 下旬
8月				
				上旬 中旬 下旬
				上旬 中旬 下旬

9月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> 陸上、器械体操 ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会練習 集団演技としてのダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 学年種目・集団演技の練習 各リズムの特徴をとらえ、全身で踊る。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> 長距離走 * (保健分野) 病気の予防 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードの使用 	<ul style="list-style-type: none"> 各自で目標設定し長距離走を走りきる筋力・体力を養う
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> 球技 ①バレー 	<ul style="list-style-type: none"> 球技の特性を理解し助け合う姿勢を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム中心の授業を展開し楽しむ。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> 球技 ②バスケット 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードの使用 	<ul style="list-style-type: none"> パス・ドリブル・シュートの基本技術を確認しゲームを楽しむ。
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> 武道(柔道) 球技 ③バスケット 	<ul style="list-style-type: none"> 受け身・寝技・礼儀の習得 フリースロー大会 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な試合(寝技)を体験する。 全クラス対抗戦
	中旬			
	下旬			
2月	上旬	<ul style="list-style-type: none"> 選択球技 創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> サッカー バドミントン テニス など クラスごとの自由なダンス 	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの種目の中から各自が選択し基本技術の習得とゲームの楽しさを学ぶ。 好きなジャンルのダンスを楽しむ。
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	↓		
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 9月 運動会
- 10月 長距離走大会
- 悪天候や施設が使えない場合は、学習内容に関わるビデオ・DVDを使い理論学習。

科目名	学年	単位数	分類
技術	1	1	必修

授業目標

- ・生活に必要な基礎知識・技術・基本的能力を学ぶ。
- ・主体的に製作に取り組み、自分のアイデアを生かすことによって仕事の楽しさや完成の喜びを体得する。
- ・安全な作業を心がけるとともに、丁寧かつ効率よく実施する。

授業内容・テーマ

- ・授業内容 設計・製図・木材加工（生物育成分野から、野菜等の栽培も行う）
- ・テーマ 作品のデザイン・設計から製作までを自分で行う。

教科書・補助教材等

- ・新しい技術・家庭 技術分野（教育図書）
- ・技術 木工ノート（正進社）

評価方法・基準

定期考査と木材加工作品、製図、提出物等を総合的に評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

- ・安全に作業・製作ができるように心がける。
- ・使用する用具・工具については、指示をよく聞き、的確に使用する。
- ・作業時の服装は体育着（上・下）を着用する。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	製品的设计	・設計の手順について (野菜の種や苗を植える)	・自分が製作したいものを、課題プリントを使ってまとめる。
		・製品の機能性と構造について (栽培された野菜の観察)	・身近にある製品を通して、製品の機能性と構造上の工夫点を理解する。
		・製品に適した材料の選定について ・ペン立ての製作 (夏野菜の収穫)	・さまざまな材料の特徴を理解し、製品にあつた材料を選択できるようにする。 ・同じ大きさ、形のペン立てを製作する。
5月	(夏野菜の栽培と収穫)	・道具の使い方と部品の加工 (実習) について	・鋸やさしがね、げんのうなどの道具を実際に使用し、安全な使い方を学ぶ。
6月			
7月			
8月			

9月	上旬	製品的设计	・ 道具の使い方と部品の加工 (実習) について	・ 鋸やさしがね、げんのうなどの道具を実際に使用し、安全な使い方を学ぶ。
	中旬		・ 自由作品の設計	・ 実用的な木工作品を考える。
10月	上旬	製品的设计	・ 部品の組み立てと仕上げについて (秋冬野菜の種、苗の植え付け)	・ 接合方法や目的に応じた塗装方法を学ぶ。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	製図	・ 製品の図面作成 (栽培野菜の観察)	・ 作成する製品の図面を正確に描くとともに、そのデザインを工夫する。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	製品の制作	・ 材料へのけがきと切断 (秋冬野菜の収穫)	・ 材料に正確にけがきを行い、無駄なく材料をとる。
	中旬			
	下旬			
1月	上旬			
	中旬			
	下旬			
2月	上旬		・ 部品の加工と組み立て	・ 丁寧かつ効率よく加工・組み立てを行い、質の高い製品が完成するよう努める。
	中旬			
	下旬			
3月	上旬		・ 製品の仕上げ	・ 塗装を行い、製品の表面保護と外観の向上に努める。
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 製品の製作過程において、「安全」を何よりも大事にする。そのため、授業の受け方として規律性を重要視する。

科目名	学年	単位数	分類
技術Ⅱ(パソコン)	1	1	必修

授業目標 ①コンピュータ利用のルールとマナーの習得, Windowsの基本操作を通して学び方やものの考え方の育成 ②ワープロソフトを利用した情報処理能力や創造力の育成
授業内容・テーマ コンピュータ利用の注意とマナー, タイピング練習, ワープロソフトの基本操作
評価方法・基準 課題や完成作品だけでなく授業への取り組み・姿勢を加味して評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) リムーバブルディスクでの文書管理

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月 上旬 中旬 下旬	ガイダンス タイピング ワープロソフト	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク(テラステーション)・ファイルとフォルダの利用説明 ホームポジションの確認, タイピング練習, ワープロ入門 	<ul style="list-style-type: none"> 独自プリントを使い、コンピュータ利用上の注意・ルールを学習する。また実習では、ファイル操作を習得する。 タイピング練習は、タイピングソフトを使用し、ホームポジションや正確さを意識して練習する。
5月 上旬 中旬 下旬	ワープロソフト	<ul style="list-style-type: none"> 「母校への手紙」作成, ワープロソフトを使った文書作成の実践・応用 	<ul style="list-style-type: none"> ワープロソフトを使用し、実践的なスキルを身につける。
6月 上旬 中旬 下旬		<ul style="list-style-type: none"> 「福島宿泊体験学習」事前学習としおりの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊体験学習で訪問する福島県について調べてまとめる。 しおりを作成し、画像の貼り付けや、文字の加工を学ぶ。
7月 上旬 中旬 下旬			
8月 上旬 中旬 下旬			

9月	上旬	ワープロソフト	<ul style="list-style-type: none"> 夏の「宿泊体験学習」の報告書を作成 	<ul style="list-style-type: none"> 現地で見、体験したことを文章にまとめ、報告書を作成する。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	インターネット	<ul style="list-style-type: none"> 時事問題の調べ学習 	<ul style="list-style-type: none"> ニュースや時事問題について調べてまとめる。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	ペイント	<ul style="list-style-type: none"> ペイント機能の利用・編集 「クリスマスカード」作成 	<ul style="list-style-type: none"> ペイント機能を効果的に利用した、クリスマスカードを作成する。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬			
	中旬			
	下旬			
1月	上旬			
	中旬	ワープロソフト	<ul style="list-style-type: none"> 「スキー実習のしおり」作成 	<ul style="list-style-type: none"> ペイントとワープロソフトを利用してスキー実習のしおりを作成する。
	下旬			
下旬				
2月	上旬	ワープロソフト	<ul style="list-style-type: none"> ワープロソフトの活用，編集機能の利用，実習問題 読書感想文 	<ul style="list-style-type: none"> 実習問題を通してワープロソフトのスキルアップを図る。 今年読んだ本の感想を書く
	中旬			
	下旬			
3月	上旬			
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 作成した「母校への手紙」は、教員が小学校へ届ける。
- タイピングに関しては、毎回の授業において継続的に行う。

科目名	学年	単位数	分類
技術Ⅱ(パソコン)	2	1	必修

授業目標 ①情報倫理, Windowsの応用操作を通して主体的判断力の育成 ②表計算ソフトを利用した情報処理能力や問題解決能力の育成
授業内容・テーマ 情報倫理の習得, ワードプロソフトの応用操作, 表計算ソフトの基本操作
教科書・補助教材等 独自プリント
評価方法・基準 課題や完成作品だけでなく授業への取り組み・姿勢を加味して評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) リムーバブルディスクでの文書管理

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	情報倫理 ワードプロソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・情報倫理(コンピュータ犯罪, 個人情報保護, 危険性の理解) ・「中等部新聞」作成, ワードプロソフトを使った文書作成の実践・応用(多量の写真データの挿入) 	<ul style="list-style-type: none"> ・独自プリントを使い, 情報倫理や情報セキュリティを学習する。 ・コンピュータ犯罪, 危険性について理解する。 ・個人情報保護について確認する。 	
				上旬
				中旬
5月	ワードプロソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・「母校への手紙」作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロソフトを利用し, 作成する。 ・写真の挿入も行う。 	
				上旬
				中旬
6月	インターネット	<ul style="list-style-type: none"> ・「東北研修旅行」事前学習 ・「東北研修旅行」報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地の現状や復興について調べる。 ・被災地を訪問し, 見て, 感じたことをまとめる。 	
				上旬
				中旬
7月				
				上旬
				中旬
8月				
				上旬
				中旬

9月	上旬 中旬 下旬	表計算ソフト	・カレンダーや時間割の作成	・エクセルを使って、カレンダーや時間割を作成する。
10月	上旬 中旬 下旬		・職業調べ学習 ・「職業の作文」作成	・職業について考える。 ・立志にあたり職業観の作文を作成する。
11月	上旬 中旬 下旬	ワープロソフト		
12月	上旬 中旬 下旬		・「立志の作文」作成	・国語の授業で、自ら作った立志の文章を使って文集にし、自己の生き方や将来について考える。
1月	上旬 中旬 下旬		・「スキー実習のしおり」作成	・ペイントとワープロソフトを利用してスキー実習のしおりを作成する
2月	上旬 中旬 下旬	iPad	・「復興新聞」作成	・グループ作業で、役割分担をしながら模造紙を使って「復興新聞」を作る。 ・iPadを使いながら、パソコン室以外の教室でも作業できるようにする。
3月	上旬 中旬 下旬	ワープロソフト インターネット	・次年度の「修学旅行」の事前学習	・神戸、奈良、京都のうち、神戸の事前学習を2年次に行っておく。

その他特記事項

- 作成した「母校への手紙」は、教員が小学校へ届ける。
- 情報倫理は折に触れ継続的に学習する。

科目名	学年	単位数	分類
家庭	2	1	必修

授業目標 ・成長期である中学生の心身の健康や成長に食生活が重要な役割を果たすことを知り、食生活の自立と実践を身につける。
授業内容・テーマ ・わたしたちの生活の自立
教科書・補助教材等 ・新しい技術・家庭 家庭分野 (東京書籍) ・技術・家庭資料ノート 家庭 (正進社)
評価方法・基準 ①授業への興味・態度 ②実習への取り組み、提出 ③実生活への応用等 総合的に評価
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 調理実習時 (エプロン・三角巾) 実技実習 (裁縫用具)

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月		<ul style="list-style-type: none"> 食生活と栄養 食生活の自立について 食事の役割を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割を知り、毎日の食事の重要性を知る。
5月		<ul style="list-style-type: none"> 実技 (生活を豊かにするための作品作り) 	<ul style="list-style-type: none"> 布の特徴を知り、製作の手順を考える。 作品制作により、ミシンや手縫いの基本的な使い方を知る。
6月	わたしたちの生活の自立		
7月			
8月			

9月	上旬	わたしたちの生活の自立	・健康によい食習慣を考えよう	・健康と食事との関わりを考える。
	中旬		・肉料理を学ぶ	・第1回 調理実習
	下旬			
10月	上旬		・食品と栄養素のかかわりを知ろう	・栄養素の働き水の働きを知る。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬		・何をどのぐらい食べたらよいのかを考えよ	・中学生に必要な栄養の特徴を知る。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬		・デコレーションを学ぶ ・焼き菓子を学ぶ	・第2回 調理実習 (クリスマスケーキ) ・第3回 調理実習
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	・何をどのぐらい食べたらよいのかを考えよう	・栄養所要量について知る。 ・食品群別摂取量のめやすについて知る。	
	中旬			
	下旬			
2月	上旬	・バランスのとれた食生活	・1日分の献立を考え、計画的に食事することの大切さを知る ・和食のよさを見直し、自分の食事チェックができるようにする。	
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	・和菓子を学ぶ	・第4回 調理実習	
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

- 夏季休業中の課題により、生活への応用力を培う。
- 実習、実技を通し、作ることへの喜びを知る。

科目名	学年	単位数	分類
家庭	3	1	必修

授業目標

- ・食生活の栄養的特徴をふまえ、実生活に生かせる知識、実践力を培う。
- ・日常の衣服の選択、着用、手入れについての基本的な知識・技術を習得する。

授業内容・テーマ

- ・食生活の自立
- ・衣生活の自立

教科書・補助教材等

- ・新しい技術・家庭 家庭分野 (東京書籍)
- ・技術・家庭資料ノート 家庭 (正進社)

評価方法・基準

- ①授業への興味・態度 ②実習への取り組み、提出 ③実生活への応用等 総合的に評価

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

- 調理実習時 (エプロン・三角巾) 実技実習 (裁縫用具)

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	わたしたちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選び方を考え、食事作りに挑戦できる力を培う。 ・よりよい食生活をめざし、各食品の特徴を知る。 ・より豊かな食生活について考える。 ・実技 (生活を豊かにするための作品作り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食料品、加工食品の特徴や食品の表示、食品添加物について知る。 ・各食品の特徴を知り、調理に生かす。 ・バランスのとれた食生活について ・作品制作により、ミシンや手縫いの応用的な使い方を知り、実践力を培う。 	
				上旬
				中旬
5月	わたしたちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選び方を考え、食事作りに挑戦できる力を培う。 ・よりよい食生活をめざし、各食品の特徴を知る。 ・より豊かな食生活について考える。 ・実技 (生活を豊かにするための作品作り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食料品、加工食品の特徴や食品の表示、食品添加物について知る。 ・各食品の特徴を知り、調理に生かす。 ・バランスのとれた食生活について ・作品制作により、ミシンや手縫いの応用的な使い方を知り、実践力を培う。 	
				上旬
				中旬
6月	わたしたちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選び方を考え、食事作りに挑戦できる力を培う。 ・よりよい食生活をめざし、各食品の特徴を知る。 ・より豊かな食生活について考える。 ・実技 (生活を豊かにするための作品作り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食料品、加工食品の特徴や食品の表示、食品添加物について知る。 ・各食品の特徴を知り、調理に生かす。 ・バランスのとれた食生活について ・作品制作により、ミシンや手縫いの応用的な使い方を知り、実践力を培う。 	
				上旬
				中旬
7月	わたしたちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選び方を考え、食事作りに挑戦できる力を培う。 ・よりよい食生活をめざし、各食品の特徴を知る。 ・より豊かな食生活について考える。 ・実技 (生活を豊かにするための作品作り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食料品、加工食品の特徴や食品の表示、食品添加物について知る。 ・各食品の特徴を知り、調理に生かす。 ・バランスのとれた食生活について ・作品制作により、ミシンや手縫いの応用的な使い方を知り、実践力を培う。 	
				上旬
				中旬
8月	わたしたちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選び方を考え、食事作りに挑戦できる力を培う。 ・よりよい食生活をめざし、各食品の特徴を知る。 ・より豊かな食生活について考える。 ・実技 (生活を豊かにするための作品作り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食料品、加工食品の特徴や食品の表示、食品添加物について知る。 ・各食品の特徴を知り、調理に生かす。 ・バランスのとれた食生活について ・作品制作により、ミシンや手縫いの応用的な使い方を知り、実践力を培う。 	
				上旬
				中旬

9月	上旬	わたしたちの生活の自立	・衣服の働きを考える。	・「第2の皮膚」について理解し、衣服についての考えを深める。
	中旬		・衣服の選び方を考える。	
	下旬			
10月	上旬	わたしたちの生活と住まい	・衣服の手入れ、補修について知る。	・衣服の特徴を知り、手入れができる力を培う。
	中旬		・魚料理を学ぶ。	・第1回 調理実習
	下旬		・デコレーションを学ぶ	・第2回 調理実習 (クリスマスケーキ)
11月	上旬	わたしたちの生活と住まい	・焼き菓子を学ぶ	・第3回 調理実習
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	わたしたちの生活と住まい		
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	わたしたちの生活と住まい		
	中旬		・住まいの働き、家族とのかかわりを考える。	・住まいの働き、重要性を知り快適に住むための知識を深める。
	下旬		・健康で快適な住まいについて	
2月	上旬	ともに生きるわたしたち	・和菓子を学ぶ	・第4回 調理実習
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	ともに生きるわたしたち	・わたしたちの成長と家族とのかかわりについて	・どのように成長してきたのかを知る。
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

科目名	学年	単位数	分類
外国語（英語）	1	4	必修

授業目標 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。また、4技能(聞く・話す・読む・書く)の基礎を養う。
授業内容・テーマ 小学校の外国語活動で触れてきた単語や表現をふり返り、中学校英語への接続をスムーズにする。
教科書・補助教材等 NEW CROWN 1 (三省堂) SECTION STUDY(学宝社) 英検分野別10分ドリル (旺文社)
評価方法・基準 日常の授業態度、小テスト、課題の提出状況、定期試験などを総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	上旬			
	中旬	Get Ready	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 アルファベット、発音とつづり 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の個々の発音を覚える。
5月	下旬	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> be動詞(肯定文, 疑問文, 否定文) 数字 挨拶と自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 主語の違いによって、be動詞を使い分ける。 人やものの紹介を通して代名詞を覚える。
	上旬			<ul style="list-style-type: none"> 身近なものについて説明する。
6月	中旬	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> He/She is ～. This/That is ～. 疑問詞What 時刻、曜日と教科。 	
	下旬			
7月	上旬	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞(肯定文, 疑問文, 否定文) 疑問詞What , Where 一日の生活を表すことば 	<ul style="list-style-type: none"> Do you～?を用い、質問ができる。 場所をたずねる、説明する。
	中旬	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 複数形 How many～? 買い物をする 季節と月 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の作り方と～(e)sの発音に注意する。 値段をたずねる、説明する。
8月	下旬			
	上旬			
	中旬			

9月	上旬	Lesson 4	・ 命令文	・ 疑問詞を使った疑問文がわかるようになる。
	中旬 下旬	Lesson 5	・ 疑問詞Who, Where, When, Whose ・ 代名詞(him / her)	
10月	上旬 中旬	Lesson 5	・ 色と大きさを表すことば ・ What time～? ・ Which ～, A or B? ・ 場所を表すことば	・ 様々な疑問詞が使えるようにする。 ・ 様々な語彙を理解し使えるようにする。
	下旬			
11月	上旬 中旬	Lesson 6	・ 3人称単数現在形 (肯定文, 疑問文, 否定文)	・ 3単元の作り方と、～sの発音に注意する。
	下旬			
12月	上旬 中旬	Lesson 7	・ 助動詞can (肯定文, 疑問文, 否定文)	・ canが使えるようにする。
	下旬			
1月	上旬	Lesson 8	・ 現在進行形 (肯定文, 疑問文, 否定文)	・ ～ingの作り方と読み方に注意する。 ・ 交通手段をたずねる, 説明する。
	中旬 下旬		・ How can we go to～?	
2月	上旬 中旬	Lesson 9	・ 一般動詞の過去形 (規則動詞) ・ 一般動詞の過去形 (不規則動詞)	・ 過去形の作り方と発音に注意する。 ・ 規則動詞と不規則動詞の違いが分かる。 ・ 日本文化に触れる。 ・ 1年間の思い出について書く。
	下旬			
3月	上旬 中旬	Let's read 2	・ 昔話を楽しむ ・ 学校生活についての記事を書く ・ 一年で学習した内容の総復習	・ 物語を読む。[自然理解] ・ プリントなどを使って理解度を確認する。
	下旬			

その他特記事項

○習熟度別授業では主に英検の級別指導を随時行う。

科目名	学年	単位数	分類
外国語 (英語)	2	5	必修

授業目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。また、4技能(聞く・話す・読む・書く)の能力を高める。

授業内容・テーマ

聞く・話す・読む・書く活動をバランスよく展開し、英語の文法や語彙を身につける。

教科書・補助教材等

NEW CROWN 2 (三省堂)
SECTION STUDY (学宝社) 整理と対策 英語 (明治図書) 英検分野別10分ドリル (旺文社)

評価方法・基準

日常の授業態度、小テスト、課題の提出状況、定期試験などを総合的に評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	Lesson 1	・一般動詞の過去形	・春休みにしたことについて会話をする。	
				上旬
				中旬 下旬
5月	Lesson 2	・be動詞の過去形 ・疑問詞 who, why ・過去進行形 ・接続詞 when	・物語のあらすじについてエッセイを書く。	
				上旬
				中旬 下旬
6月	Lesson 3	・be going to ~ ・助動詞 will ~, must ~ ・接続詞 that, if, and, but, because	・アンケートについて答える。	
				上旬
				中旬 下旬
7月	Lesson 4	・There is ~ ・There are ~ ・動名詞 ・have to ~	・観光案内	
				上旬
				中旬 下旬
8月				
				上旬
				中旬 下旬

9月	上旬 中旬 下旬	Let's Read 1	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 until ・助動詞 may ~ 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇(狂言)を読む。[伝統文化、人間理解]
10月	上旬 中旬 下旬	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・主語+動詞+~に(人)+~を(もの) ・主語+動詞+形容詞 ・Will you ~ ? 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな国についてエッセイを書く。
11月	上旬 中旬 下旬	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・to 不定詞 (名詞的用法, 副詞的用法, 形容詞用法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の手紙を書く。
12月	上旬 中旬 下旬	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現 (比較級, 最上級, 原級) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションをする。
1月	上旬 中旬 下旬	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態 ・付加疑問文 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の町を紹介する。
2月	上旬 中旬 下旬	Let's Read 2	<ul style="list-style-type: none"> ・Landmines and Aki Ra 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読む。[人間関係、社会理解]
3月	上旬 中旬 下旬	Further Reading	<ul style="list-style-type: none"> ・Zorba's Promise ・A Calender of the Earth 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む力を高める。

その他特記事項

○ 習熟度別授業では主に英検の級別指導を随時行う。

科目名	学年	単位数	分類
外国語 (英語)	3	5	必修

授業目標 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。また、4技能(聞く・話す・読む・書く)の能力を統合的に高める。
授業内容・テーマ 多くの英語に触れることで4技能を磨き、国際人としての資質を高める。
教科書・補助教材等 NEW CROWN 3 (三省堂) SECTION STUDY (学宝社) ニューリスニングプラス (正進社) TransferAコース (桐原書店) 新・精選問題集 (正進社) 整理と対策 英語 (明治図書)
評価方法・基準 日常の授業態度、小テスト、課題の提出状況、定期試験などを総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	Lesson 1	・受動態	・好きなことばについてスピーチをする。	
				上旬
				中旬
5月	Lesson 2	・現在完了形 (継続用法)	・ボランティアに応募するための自己紹介カードを書く。	
				上旬
				中旬
6月	Lesson 3	・現在完了形 (完了用法・経験用法)	・詳しい説明を求めたりして、会話を広げる。	
				上旬
				中旬
7月	Lesson 4	・動詞 (call, makeなど) +A+B ・It is ~ (for A) to...の構文	・物語の要約文を書く。	
				上旬
				中旬
8月				
				上旬
				中旬

9月	上旬 中旬 下旬	Lesson 5	・関係代名詞 (主格・目的格)	・行きたい場所と、そこでしたいことについてスピーチをする。
10月	上旬 中旬 下旬	Lesson 6	・後置修飾	・尊敬する人物やあこがれの人物を紹介する新聞の投稿記事を書く。
11月	上旬 中旬 下旬	Lesson 7	・want+A+to ~ ・間接疑問	・会話を始めるパターンを多く持つ。
12月	上旬 中旬	・Transfer ・新・精選問題集	・テキストによる演習 (長文, 語彙, 文法) ・入試リスニング	・入試対策
	下旬			
1月	上旬			
	中旬 下旬	・Transfer ・新・精選問題集	・テキストによる演習 (長文, 語彙, 文法) ・入試リスニング	・入試対策
2月	上旬 中旬	・Transfer ・新・精選問題集	・テキストによる演習 (長文, 語彙, 文法) ・入試リスニング	・入試対策
	下旬			
3月	上旬 中旬	・Transfer ・新・精選問題集	・テキストによる演習 (長文, 語彙, 文法) ・入試リスニング	・入試対策
	下旬			

その他特記事項

○習熟度別授業では主に高校入試対策を随時行う。

科目名	学年	単位数	分類
総合的な学習の時間 (国際理解)	1	1	必修

授業目標 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。
授業内容・テーマ 英語のListening・Speakingに慣れ親しみ、音声の特徴をとらえ、正しく聞き取り発音することができるような活動を行う。
教科書・補助教材等 Talk and Talk Book 1 (正進社) NEW CROWN 1 (三省堂)
評価方法・基準 日常の授業態度・小テスト・課題の提出・Speaking Test等で総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	Lesson 1・2・3	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ アルファベット 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の発音とつづりに慣れる。 	
				上旬
				中旬
5月	Lesson 5・6 Word and Word (2)	<ul style="list-style-type: none"> 人の紹介 代名詞 形容詞 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や他人の紹介を通して、人称や代名詞を意識する。 	
				上旬
				中旬
6月	Lesson 7・8	<ul style="list-style-type: none"> 数字 月の名前、季節 be動詞 疑問文と否定文 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の語順に慣れる。 	
				上旬
				中旬
7月	Lesson 9・10 Lesson 16・17	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞what 名詞の複数形 一般動詞 these, those 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞が使えるようになる。 名詞の単数形と複数形を理解する。 	
				上旬
				中旬
8月				
				上旬
				中旬

9月	上旬	Lesson 14・15 Lesson 18・19	・ 3人称単数現在	・ 3人称単数現在について理解する。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	Lesson 34	・ 頻度を表す副詞	・ 一般動詞と副詞を組み合わせて、典型的な1日の生活について表現する。
	中旬			
	下旬			
11月	上旬	Lesson 14・15・33	・ 疑問詞 who, whose, where, whenなど	・ 疑問詞を使って、必要な情報を得ることができる。
	中旬			
	下旬			
12月	上旬	Lesson 22・23 Conversation Test	・ 命令文 ・ 所有格 ・ 所有代名詞	・ 命令文を使って指示をしたり、相手を誘って活動することができる。
	中旬			
	下旬			
1月	上旬	Lesson 28・29 Lesson 40	・ 現在進行形 ・ How much ~?	・ 現在形と現在進行形の違いを理解し、使い分けることができる。 ・ 買い物に必要な表現を使うことができる。
	中旬			
	下旬			
2月	上旬	Lesson 32 Lesson 26・42・43	・ 助動詞can ・ What + 名詞 (What time ~?) ・ 動詞の過去形	・ 助動詞を使って、表現をより豊かにする。 ・ 時間に関する表現を使えるようになる。 ・ 過去に経験したことが表現できる。
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	Lesson 44	・ Self-introduction	・ 学習した表現を使用して、相手に自分のことを伝えることができる。
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

--

科目名	学年	単位数	分類
総合的な学習の時間 (国際理解)	2	1	必修

授業目標 ・発展的な英会話を学び、積極的なスピーキングやリスニングの活動から英語で発信できる力を養う。
授業内容・テーマ Team Teachingならではの言語活動を中心とした授業を展開し、特に英語（5単位）の授業との連携を図る。
教科書・補助教材等 Talk and Talk Book 2（正進社） NEW CROWN 2（三省堂）
評価方法・基準 日常の授業態度・小テスト・課題の提出・Speaking Test等で総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 特になし

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考
4月	上旬 Classroom English	・教室で使う英語	・授業に必要な表現を身につける。
	中旬 Lesson 2	・Interview Game	・日常生活に必要な表現を身につける。
5月	上旬 Lesson 1・3・4	・過去形（一般動詞） ・英文日記	・過去形（規則動詞・不規則動詞）を使えるようになる。
	中旬 Lesson 5・6	・過去形（be動詞） ・過去進行形 ・探偵ゲーム	・be動詞の過去形を過去進行形に発展させる。
6月	中旬 Lesson 8・9	・未来形（will / be going to）	・未来の表現を覚える。
	下旬 Lesson 16	・You look happy. ・天気予報	・look + 形容詞の文型に慣れる。
7月	中旬 Lesson 12・13	・There is～ There are～	・習得した英文で、自分の住む街について表現してみる。
	下旬		
8月	上旬		
	中旬		
	下旬		

9月	上旬	Lesson 23	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞(副詞用法①) 接続詞when 	<ul style="list-style-type: none"> 体の不調を伝える表現を学ぶ。
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	Lesson 24・25	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞(副詞用法②)・形容詞用法・名詞用法 助動詞 must / mustn't / have to / should 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いて、日常生活の場面について表現できるようになる。 ビンゴゲームを通して、助動詞を活用する。
	中旬	Lesson 36・37・38		
	下旬			
11月	上旬	Lesson 34・35	<ul style="list-style-type: none"> Shall I ~? Shall we ~? 接続詞if・that 接続詞before 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に提案したり、誘う表現を学ぶ。 接続詞を用いて、やや複雑な英文を作れるようにする。
	中旬	Lesson 29		
	下旬	Lesson 27		
12月	上旬	Lesson 43	<ul style="list-style-type: none"> Asking the way 	<ul style="list-style-type: none"> 地図を見ながら、道案内ができるようになる。
	中旬	Conversation Test		
	下旬			
1月	上旬		<ul style="list-style-type: none"> 比較級 最上級 more / the most 	<ul style="list-style-type: none"> ~er ~est の形に慣れる。 more / the most がつく形容詞や副詞に慣れる。
	中旬	Lesson 49・50・51・52		
	下旬			
2月	上旬	Lesson 54・55	<ul style="list-style-type: none"> as ~as クイズ すごろく 	<ul style="list-style-type: none"> 同等表現を覚える。 クイズやすごろくを通して、比較級や最上級の復習をする。
	中旬			
	下旬			
3月	上旬	総復習	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームを通して、既習事項を確認する。
	中旬			
	下旬			

その他特記事項

科目名	学年	単位数	分類
総合的な学習の時間 (情報処理)	3	1	必修

授業目標 ①ワープロソフトのさまざまな機能を使ってみよう ②プレゼンテーションソフトを利用した研究発表能力の育成
授業内容・テーマ ワープロソフトの応用操作, プレゼンテーションソフトの基本操作
教科書・補助教材等 独自プリント
評価方法・基準 課題や完成作品だけでなく授業への取り組み・姿勢を加味して評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) リムーバブルディスクでの文書管理

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考				
4月	情報倫理 ワープロソフト インターネット	<ul style="list-style-type: none"> ・情報倫理(人権保障)の理解 ・「修学旅行の調べ学習」作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・独自プリントを使い、人権保障の観点から情報倫理について学習する。知的所有権(著作権・肖像権)についても具体的に学習する。 ・インターネットでの修学旅行で訪ねる史跡・学習先などを調べ、調査内容をまとめる。 				
				5月	ワープロソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・「母校への手紙」「中等部新聞」作成 ・ワープロソフトを使った文書作成の実践・応用(写真の挿入) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロソフトを利用し、作成する。
7月							
				8月			

9月	上旬 中旬 下旬	表計算ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルの関数などを覚え、簡単な表計算を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合計、平均、順位など日常生活でも使用するような関数を覚える。
10月	上旬 中旬 下旬			
11月	上旬 中旬 下旬	ワープロソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロの速度競争や通信文作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語ワープロ検定協会の3級検定問題を使い、計測しながら競争する。
12月	上旬 中旬 下旬			
1月	上旬 中旬 下旬	プレゼンテーションソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトの基本操作、相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンソフトを使って、時事問題などをプレゼンテーションする。 ・情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方などの学び方やものの考え方を身につける。
2月	上旬 中旬 下旬			
3月	上旬 中旬 下旬			

その他特記事項

- 作成した「母校への手紙」は、教員が小学校へ届ける。
- 「修学旅行の調べ学習」作成の際は、知的所有権に留意する。
- HPやパワーポイントは、クラスで作品の投票を行う。
- 総合的な学習の時間は、情報基礎（読書）1と情報処理（パソコン）1とに分かれる。

科目名	学年	単位数	分類
特別の教科 道徳	1	1	必修

授業目標 ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
授業内容・テーマ 小学校高学年段階における指導との接続を意識する。生徒それぞれの段階の実態等を考慮して指導を進める。
教科書・補助教材等 明日への扉1年(学研) ワークシート用ファイル
評価方法・基準 日常の授業態度、ワークシートの内容などを総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 月1回、牧師による聖話を行う。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	上旬			
	中旬	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・聖話 ・教材「マイプロフィール」 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生になった自分を見つめる。
5月	下旬	人と支え合って生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「3 挨拶しますか、しませんか」 	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場に応じた適切な言動を考える。
	上旬	社会に生きる一員として	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「4 うわさで決めるの？」 	<ul style="list-style-type: none"> ・差別や偏見のない社会の実現を目指す。
中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・聖話 			
6月	下旬	人と支え合って生きる／生命を輝かせて生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「26 クラスメイト」 ・教材「8 バスと赤ちゃん」 ・教材「2 あなたに」 ・聖話 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに支え、競い合い、高め合う友情について自分の考えを持つ。 ・かけがえのない生命の尊重について考え、生まれてきたことへの感謝をもつ。
	上旬	自分を見つめ伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「17 日曜日の朝に」 ・「歩きスマホは危険がいっぱい」 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で調和のある生活を心掛ける。
中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業について 			
8月	下旬			
	上旬			
	中旬			
	下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊体験学習（2泊3日 12時間分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の被災者の話を伺い、震災学習を行う。集団生活で道徳性を培う。 	

9月	上旬	社会に生きる一員として	・教材「20 町内会デビュー」	・社会と関わり、社会をよくするためにできることについて考える。
	中旬		・聖話	
	下旬			
10月	上旬	生命を輝かせて生きる	・教材「12 いっぱい生きる 全盲の中学校教師」	・人間として生きる喜びについて考える。
	中旬		・教材「19 たとえ僕に明日はなくても」	
	下旬		・聖話	
11月	上旬	自分を見つめ直す	・教材「28 イチローの軌跡」	・自分を見つめ、個性を伸ばす。 ・自ら考え、判断し、実行し、責任をもつことについて考える。
	中旬		・教材「9 裏庭での出来事」	
	下旬		・聖話	
12月	上旬	社会に生きる一員として	・教材「25 伝統を伝説に」	・学校や仲間に誇りをもつ。 ・ふるさとの発展のためにできることについて考える。
	中旬		・教材「10 壊れた掲示板」	
	下旬		・クリスマス礼拝	
1月	上旬	社会に生きる一員として	・教材「27 日本の心と技」	・国を愛し、伝統の継承と文化の創造を目指す。 ・日本人としての自覚をもち、世界に貢献する。
	中旬		・教材「13 真の国際人 嘉納治五郎」	
	下旬		・聖話	
2月	上旬	社会に生きる一員として	・教材「7 黒い弁当」	・より充実した家庭生活について考える。 ・差別や偏見のない社会の実現を目指す。
	中旬		・教材「23 公平とはなんだろう」	
	下旬		・聖話	
3月	上旬	生命を輝かせて生きる	・教材「34 捨て犬・未来」	・かけがえのない生命の尊重について考える。
	中旬		・聖話	
	下旬			

その他特記事項

○学年末に記述による評価を行う。

科目名	学年	単位数	分類
特別の教科 道徳	2	1	必修

授業目標 ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
授業内容・テーマ 生徒が見せる成長発達の様子やそれぞれの段階の実態等を考慮して指導を進める。
教科書・補助教材等 明日への扉2年(学研) ワークシート用ファイル
評価方法・基準 日常の授業態度、ワークシートの内容などを総合的に評価する。
受講にあたって留意すべき事(受講条件等) 月1回、牧師による聖話を行う。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	上旬			
	中旬	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・聖話 ・教材「マイプロフィール」 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生になった自分を見つめる。
5月	下旬	自分を見つめ伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「13 父との約束」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、判断し、実行し、責任をもつ。
	上旬	生命を輝かせて生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「27 厳かなるもの」 ・聖話 	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものへの感動と畏敬の念をもつ。
6月	中旬	社会に生きる一員として/人と支え合って生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「16 キャッチボール」 ・教材「31 お通夜のこと」 ・教材「20 言葉の向こうに」 ・聖話 	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある安定した社会の実現について考える。 ・時と場に応じた適切な言動を考える。
	下旬	生命を輝かせて生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「29 償い」 ・聖話 ・夏季休業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに認め合い、学び合う心について考える。
7月	上旬		<ul style="list-style-type: none"> ・人間として生きる喜びについて考える。 	
	中旬			
8月	上旬			
	下旬	宿泊体験学習(2泊3日 15時間分)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の被災地へ赴き、震災学習を行い、集団生活を通して人間関係を学ぶ。 	

9月	上旬	人と支え合って生きる	・教材「9 蹴り続けたボール」	・認め合い、学び合う心について考える。 ・聖話
	中旬			
	下旬			
10月	上旬	社会に生きる一員として	・教材「23 未来から来たおじいさん」	・社会と関わり、社会をよくするために、自分にできることについて考える。 ・規律ある安定した社会の実現のために、自分にできることについて考える。
	中旬		・教材「3 ごみ収集場所をどこに」	
	下旬		・聖話	
11月	上旬	社会に生きる一員として	・教材「14 あるレジ打ちの女性」	・勤労を通して社会に貢献するために自分にできることについて考える。 ・ふるさとの発展のために自分にできることについて考える。
	中旬		・教材「33 五色桜」	
	下旬		・聖話	
12月	上旬	社会に生きる一員として	・教材「21 危険地帯から実りの土地へ」	・日本人としての自覚をもち、世界に貢献する。
	中旬		・クリスマス礼拝	
	下旬			
1月	上旬	自分を見つめ伸ばす		
	中旬		・教材「10 ジャッジとチャレンジ」	・自分を見つめ、個性を伸ばす。
	下旬		・教材「25 ものづくり」 ・聖話	・真理を探究して新しいものを生み出すことについて考える。
2月	上旬	社会に生きる一員として／人と支え合って生きる	・教材「6 美しい母の顔」	・より充実した家庭生活について考える。
	中旬		・教材「17 星置きの滝」	・互いに支え、競い合い、高め合う友情について考える。
	下旬		・聖話	
3月	上旬	生命を輝かせて生きる	・教材「12 そこにいるだけでいい」	・かけがえのない生命の尊重について考える。
	中旬		・聖話	
	下旬			

その他特記事項

○学年末に記述による評価を行う。

科目名	学年	単位数	分類
特別の教科 道徳	3	1	必修

授業目標

・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

授業内容・テーマ

生徒それぞれの段階の実態等を考慮して指導を進める。高等学校等における道徳教育への見通しをもつ。

教科書・補助教材等

明日への扉 3年(学研)
ワークシート用ファイル

評価方法・基準

日常の授業態度、ワークシートの内容などを総合的に評価する。

受講にあたって留意すべき事(受講条件等)

月1回、牧師による聖話を行う。

学習計画

時期	単元	学習内容	学習活動の特徴・備考	
4月	上旬			
	中旬	オリエンテーション	・聖話 ・教材「マイプロフィール」	・中学3年生になった自分を見つめる。
	下旬	人と支え合って生きる	・教材「6 礼儀って何」	・時と場に応じた適切な言動を考える。
5月	上旬			
	中旬	人と支え合って生きる	・教材「10 私たちの夏」	・互いに支え、競い合い、高め合う友情について自分の考えをもつ。
6月	下旬			
	上旬	社会に生きる一員として	・教材「17 二人のエース」	・互いに支え、競い合い、高め合う友情について自分の考えを持つ。
	中旬		・教材「16 一冊のノート」 ・教材「35 亡き母へのトランペット」	・より充実した家庭生活について考える。 ・人間として生きる喜びについて考える。
7月	下旬			
	上旬	社会に生きる一員として	・教材「19 二通の手紙」	・規律ある安定した社会の実現を目指す。
8月	中旬			
	下旬			
	下旬		・修学旅行(3泊4日 15時間分)	・阪神・淡路大震災の被災地で震災学習を行う。集団生活で人間関係について学ぶ。

9月	上旬 中旬 下旬	人と支え合って生きる	<ul style="list-style-type: none"> 教材「10 私たちの夏」 聖話 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに支え、競い合い、高め合う友情について考える。
10月	上旬 中旬 下旬	社会に生きる一員として	<ul style="list-style-type: none"> 教材「21 私たちの合唱コンクール」 教材「27 未来の日本へデビュー」 聖話 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や仲間に誇りをもつ。 社会と関わり、社会をよくするために自分にできることについて考える。
11月	上旬 中旬 下旬	生命を輝かせて生きる／人と支え合って生きる	<ul style="list-style-type: none"> 教材「25 卒業文集最後の二行」 教材「22 どうして？」 聖話 	<ul style="list-style-type: none"> 差別や偏見のない社会の実現を目指す。 互いに認め合い、学び合う心について考える。
12月	上旬 中旬 下旬	社会に生きる一員として	<ul style="list-style-type: none"> 教材「29 あなたの命は誰のもの」 クリスマス礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> かけがえのない生命の尊重について考える。
1月	上旬 中旬 下旬	人と支え合って生きる／社会に生きる一員として	<ul style="list-style-type: none"> 教材「31 五井先生と太郎」 教材「8 インターネットとともに」 聖話 	<ul style="list-style-type: none"> 温かい人間愛について考える。 規律ある安定した社会の実現を目指す。
2月	上旬 中旬 下旬	生命を輝かせて生きる	<ul style="list-style-type: none"> 教材「30 地球の未来のために」 聖話 	<ul style="list-style-type: none"> 大切に守りたい崇高な自然について考える。
3月	上旬 中旬 下旬		<ul style="list-style-type: none"> 聖話 	

その他特記事項

○学年末に記述による評価を行う。

特別教育活動 年間指導計画表

学期	月	行 事	1 年	2 年	3 年
1 学期	4	始業式・入学式 学級懇談	・学年集会(新生活に向けた学習・生活指導)	・学年集会(学習指導・生活指導)	・学年集会 (入試に向けた学習・生活指導) ・学年集会2(修学旅行全体説明)
	5	生徒総会 保護者面談 中間テスト 宇河春季大会	・部活動激励会 ・避難訓練 ・中間テストに向けた学習指導	・部活動激励会 ・避難訓練 ・中間テストに向けた学習指導	・部活動激励会 ・避難訓練 ・中間テストに向けた学習指導
	6	県春季体育大会 実力テスト① 校内主張コンクール 期末テスト	・生活実態アンケート ・校内主張コンクール代表選考 ・実力テストや期末テストに向けた学習指導	・生活実態アンケート ・校内主張コンクール代表選考 ・実力テストや期末テストに向けた学習指導	・生活実態アンケート ・校内主張コンクール代表選考 ・実力テストや期末テストに向けた学習指導
	7	合唱コンクール 宇河総合体育大会 県総合体育大会 夏季休業	・学年集会1(宿泊事前指導) ・部活動激励会 ・防犯講話 ・合唱コンクール事前指導 ・学年集会2(宿泊体験学習全体説明) ・学年集会3(夏季休業事前指導)	・部活動激励会 ・防犯講話 ・合唱コンクール事前指導 ・学年集会1(宿泊体験学習全体説明) ・学年集会2(夏季休業事前指導)	・部活動激励会 ・学年集会1 (入試に向けた学習・生活指導) ・防犯講話 ・合唱コンクール事前指導 ・学年集会2(夏季休業事前指導)
2 学期	8	夏期補習 宿泊体験学習(1年) 宿泊体験学習(2年) 修学旅行(3年)	・2学期に向けた学習指導 ・学年集会(宿泊事前指導)	・2学期に向けた学習指導 ・学年集会(宿泊事前指導)	・2学期に向けた学習・進路指導 ・学年集会(修学旅行事前指導)
	9	文化祭 運動会 実力テスト② 創立記念日 宇河新人体育大会	・学年集会(生活指導) ・運動会事前指導 ・部活動激励会 ・実力テストに向けた学習指導	・学年集会(生活指導) ・運動会事前指導 ・部活動激励会 ・実力テストに向けた学習指導	・学年集会 (入試に向けた学習・生活指導) ・運動会事前指導 ・部活動激励会 ・実力テストに向けた学習指導
	10	県新人体育大会 2学期中間テスト 長距離走大会 実力テスト③	・学年集会(学習・生活指導) ・生活実態アンケート ・中間試験に向けた学習指導 ・長距離走大会事前指導	・学年集会(学習・生活指導) ・生活実態アンケート ・中間試験に向けた学習指導 ・長距離走大会事前指導	・学年集会(進路指導) (入試に向けた学習・生活指導) ・生活実態アンケート ・中間試験に向けた学習指導 ・長距離走大会事前指導
	11	立志記念講話(2年) 英進トライアル 感謝祭 教育進路相談	・進路指導 ・生徒会選挙事前指導 ・感謝祭事前指導	・進路指導 ・生徒会選挙事前指導	・進路指導 ・英進トリアル ・生徒会選挙事前指導
	12	2学期期末試験 クリスマス礼拝 冬季休業	・学年集会1(学習・生活指導) ・読書指導 ・期末試験に向けた学習指導 ・学年集会2(冬季休業事前指導)	・学年集会1(学習・生活指導) ・期末試験に向けた学習指導 ・学年集会2(冬季休業事前指導)	・学年集会1 (入試に向けた学習・生活指導) ・期末試験に向けた学習指導 ・学年集会2(冬季休業事前指導)
	1	作新校入学試験 百人一首かるた大会 進路面談(3年) 生徒会選挙 実力テスト④(3年)	・学年集会1(学習・生活指導) ・学年集会2(スキー実習全体説明) ・生活実態アンケート ・選挙に向けた事前指導	・学年集会1(学習・生活指導) ・学年集会2(スキー実習全体説明) ・生活実態アンケート ・立志作文クラス内選考 ・選挙に向けた事前指導	・学年集会 (入試に向けた学習・生活指導) ・受験指導(作新高入試) ・生活実態アンケート ・作新高入試事後指導 ・選挙に向けた事前指導
3 学期	2	立志式(2年) 学年末試験 スキー実習	・学年末試験に向けた学習指導 ・学年集会(スキー実習事前指導)	・学年末試験に向けた学習指導 ・学年集会(スキー実習事前指導)	・学年末試験に向けた学習指導 ・受験指導(県立高入試) ・作新高進学者特別授業
	3	実力テスト④(1・2年) 卒業式 修了式 春季休業	・全体指導(卒業式事前指導) ・学年集会 (進級に向けて学習・生活指導)	・全体指導(卒業式事前指導) ・学年集会 (進級に向けて学習・生活指導)	・全体指導(卒業式事前指導)